

# 大檀B・C遺跡

## 発掘調査報告書

1986

山形県教育委員会

おお だん

# 大檀 B・C 遺跡

## 発掘調査報告書

昭和61年3月

山形県教育委員会

## 序

本報告書は、山形県立米沢興譲館高等学校建設工事に伴い山形県教育委員会が調査主体となり、昭和59年・60年度の二ヶ年にわたる大檜B・C2遺跡の発掘調査の記録をまとめたものであります。

吾妻連峰にだかれた米沢市は、山形県の母なる川「最上川」の源流を形成する大小の河川が発達し、本県でも屈指の自然が豊かで磐梯朝日国立公園(吾妻地区)に指定されているところです。

このような自然環境のもと太古からの人間の営みも多く、その証拠に約400ヶ所に近い遺跡が、現在確認されております。

近年開発事業の増加に伴い、ともすると貴重な地下に埋もれた埋蔵文化財との係わりも年々増加の傾向にあり、県民福祉の向上を目的とする諸開発事業と県民ひいては国民の文化遺産である埋蔵文化財との間には、今なお数多くの問題をかかえています。

県教育委員会におきましては「心ひろくたくましい県民の育成」と地域文化の環境づくりという立場から、これらの間の調整をはかり、今後とも埋蔵文化財の保護と活用のために努力を続けてまいる所存であります。

最後でありますが、本調査にご協力をいただいた関係各位並びに地元の方々に感謝申し上げると共に、本書が埋蔵文化財に対するおおかたの理解の一助となれば幸いです。

昭和61年3月

山形県教育委員会

教育長 高橋 和雄

## 例　　言

1. 本書は、山形県教育委員会が昭和59・60年度に実施した、山形県立米沢興譲館高等学校建設に伴う、大榎B・C遺跡の緊急発掘調査報告書である。
2. 発掘調査は、昭和59・60年度の2箇年に亘った。昭和59年度は昭和59年7月2日から同年8月10日まで延べ30日間、昭和60年度は昭和60年4月16日から同年5月31日まで延べ27日間行った。
3. 遺跡の所在地は、山形県米沢市大字笹野字大榎四1548他である。
4. 発掘調査体制は、下記のとおりである。

調査主体 山形県教育委員会

調査担当 山形県埋蔵文化財緊急調査団

調査担当者 主任調査員 佐々木洋治（山形県教育庁文化課 埋蔵文化財主査）

佐藤 庄一（ 同 埋蔵文化財係長）

現場主任 名和達朗（ 同 技師）

安部 実（ 同 技師）

調査員 太田 優（ 同 嘴託）

事務局 事務局長 小関陽三（ 同 課長）

事務局長補佐 後藤文夫（ 同 課長補佐  
昭和59年度）

加藤友信（ 同 課長補佐  
昭和60年度）

事務局員 斎藤世都子（ 同 主事）

中島 寛（ 同 主事）

氏家修一（ 同 主事）

5. 発掘調査にあたっては、山形県立米沢興譲館高等学校、米沢市教育委員会、東南置賜教育事務所、山形県教育庁総務課、米沢市笹野、諸仏地区より多くのご協力を得た。記して感謝申し上げる。

6. 本書の作成は安部 実が担当した。IV章3節に付いては石井浩幸(山形大学学生)が補佐した。

なお、挿図類の作成にあたっては、莊司宏子、富田和子、漆山順子、徳永裕子、丹野久美子、佐藤めぐみ、辻 広美、山口美和子(文化課)、斎藤智佳子、森岡 隆、宅井英一、岩見和泰(大学生)の補助を得た。

編集は安部 実、長橋 至が担当し、全体について佐々木洋治が総括した。

## 凡　　例

1. 本書で使用した遺構の分類記号は以下のとおりである。

S T …… 竪穴住居跡 S K …… 土坑 E L …… 焼土 E P …… ピット

2. 遺構に付した番号は、1番から順次登録していき34番まで使用した。

3. 報告書執筆の基準は下記のとおりである。

(1) 遺構概要図・遺構分布図・遺物分布図・実測図中の方位記号は真北を示している。

なお、グリッドの南北軸線は真北から東へ $5^{\circ}30'$ 傾いている。

(2) 遺構実測図は原則として1/100、1/80の縮尺で採録し、各々にスケールを付した。

(3) 遺物実測図・拓影図は、石器を実大・1/2・1/3・1/4、土器を1/3で採録し、各々にスケールを付した。

(4) 遺物観察表中にある（　）内の数値は、図上復元による推定値を表わしている。

また、〈　〉内の数値は残存値を表わしている。

出土地点欄の「層位」中の「F」は遺構覆土層位を、ローマ数字は遺跡を覆う土層番号を表わしている。

土器観察表中の「色調」については、新版「標準土色帖」(農林省農林水産技術会議事務局監修 1970年)に掲る。

(5) 調査時においては、遺物の種別にかかわらず1から始めて番号を付けたが、本書では石器・土器にそれぞれ1から始まる通し番号を付けた。この番号は土器拓影実測図、遺物観察表、写真図版ともに一致している。

# 目 次

|            |   |         |    |
|------------|---|---------|----|
| I 遺跡の立地と環境 | 1 | IV 出土遺物 |    |
| II 調査の経緯   |   | 1 遺物の分布 | 12 |
| 1 調査に至る経過  | 1 | 2 石 器   | 12 |
| 2 調査の方法と経過 | 1 | 3 接合剥片  | 22 |
| III 検出遺構   |   | 4 土 器   | 23 |
| 1 遺跡の層序    | 3 | 5 土 製 品 | 24 |
| 2 III区の遺構  | 4 | V ま と め | 38 |
| 3 IV区の遺構   | 4 |         |    |

## 挿 図

|                    |    |                 |    |
|--------------------|----|-----------------|----|
| 図 1 遺跡位置図          | 2  | 図18 石器実測図 (1)   | 18 |
| 図 2 遺跡全体図          | 3  | 図19 同 (2)       | 19 |
| 図 3 I・II・IV区土層     | 5  | 図20 同 (3)       | 20 |
| 図 4 III区遺構平面図・土層図  | 6  | 図21 同 (4)       | 21 |
| 図 5 IV区遺構平面図・土層図   | 7  | 図22 土器拓影実測図 (1) | 25 |
| 図 6 S T10・11住居跡    | 10 | 図23 同 (2)       | 26 |
| 図 7 S T6・7住居跡      | 10 | 図24 同 (3)       | 27 |
| 図 8 S T32住居跡       | 11 | 図25 同 (4)       | 28 |
| 図 9 S K2土坑         | 11 | 図26 同 (5)       | 29 |
| 図10 土器・石器分布図       | 13 | 図27 同 (6)       | 30 |
| 図11 磨石・凹石グリッド別出土点数 | 14 | 図28 同 (7)       | 31 |
| 図12 磁分布図           | 14 | 図29 同 (8)       | 32 |
| 図13 S T6・7遺物分布図    | 15 | 図30 同 (9)       | 33 |
| 図14 E L8・9遺物分布図    | 15 | 図31 同 (10)      | 34 |
| 図15 石器分布図          | 16 | 図32 同 (11)      | 35 |
| 図16 接合剥片分布図        | 16 | 図33 土製品(耳飾り)    | 35 |
| 図17 接合剥片実測図        | 17 |                 |    |

## 付 表

|                     |    |                     |    |
|---------------------|----|---------------------|----|
| 表 1 接合剝片組成表 .....   | 17 | 表 4 土器観察表 (1) ..... | 36 |
| 表 2 石器観察表 (1) ..... | 18 | 表 5 同 (2) .....     | 37 |
| 表 3 同 (2) .....     | 22 | 表 6 土製品観察表 .....    | 37 |

## 図 版

- P L 1 調査区域近景、試掘状況  
P L 2 I 区東西トレンチ北壁土層、17-20グリッド土層  
P L 3 II 区精査状況、III 区完掘状況  
P L 4 IV 区トレンチ精査状況、IV 区遺構検出状況  
P L 5 IV 区東壁土層南側、IV 区東壁土層北側  
P L 6 120-90グリッド土層、IV 区93-74グリッド東壁土層  
P L 7 S T 6・7 住居跡、S T 7 遺物出土状況  
P L 8 E L 8・9 近景  
P L 9 S T 10・11 住居跡、S T 32 住居跡  
P L 10 S K 2 土坑、S K 2 土坑土層  
P L 11 土器出土状況  
P L 12 土器出土状況  
P L 13 土器出土状況、礫検出状況 91・92-79~83 G  
P L 14 石 器 (1)  
P L 15 石 器 (2)  
P L 16 石 器 (3)  
P L 17 接合剝片  
P L 18 土 器 (1)  
P L 19 土 器 (2)  
P L 20 土 器 (3)  
P L 21 土 器 (4)  
P L 22 土 器 (5)  
P L 23 土 器 (6)  
P L 24 土 器 (7)  
P L 25 土 器 (8)・土製品

## I 遺跡の立地と環境

大槻B・C遺跡は、米沢盆地の南端、吾妻連峰を源として北流する松川や、大槻川によって開析された松川扇状地扇尖部に位置する。笹野山の東麓、洪積世沖積土に覆われた低地性の段丘状を呈し、北西方向へ傾斜しており、標高270m前後を測る。

遺跡周辺は畑地、原野、宅地となっており、南に雄大な吾妻山系を遠望する緑豊かな自然環境となっている。

本遺跡周辺には、西側に大塚山遺跡(縄文時代中期)、南西に大槻遺跡(縄文時代前期～中期)、一本橋遺跡(縄文時代後期)など付近に縄文時代の遺跡がある。

## II 調査の経緯

### I 調査に至る経過

大槻B・C遺跡は、昭和58年度に山形県教育委員会が実施した遺跡詳細分布調査によって、新規に発見されたものである。

山形県立米沢興譲館高等学校建設が笹野地区に計画された段階で、建設予定地内に遺跡は確認されてなかったが、県教育委員会では付近に周知の遺跡が存在することなどの地理的環境から、文化財保護の措置として遺跡詳細分布調査(現地確認・試掘調査)を昭和58年10～11月に実施した。

建設予定地内で確認された本遺跡について、昭和58年度末に県教育委員会、県立米沢興譲館高等学校、米沢市教育委員会等関係機関で協議を重ねた結果、昭和59年度に第1次調査、昭和60年度に第2次調査の緊急発掘調査を実施する運びとなった。

なお、遺跡名は周知の大槻遺跡(M6 1200)と区分するため、B遺跡、C遺跡とした。

### 2 調査の方法と経過

調査範囲は建設予定地内に限って行った。グリッド割りは、58年度遺跡詳細分布調査のそれと同一にY軸をN-5°30' - Eとし、3m×3mを最小単位とした。

分布調査の結果をもとに、トレングリフを行いさらに遺跡の内容把握に努めた。

調査区は便宜上I～IV区と名付けた。59年度はI～IV区各15m×15mの225m<sup>2</sup>で、計900m<sup>2</sup>を精査した。I・II区からは遺構・遺物は検出されなかった。III・IV区において住居跡、土坑、焼土、ピット等が検出された。

60年度はIV区をさらに拡張して東西30m、南北51mの1531m<sup>2</sup>を精査した。

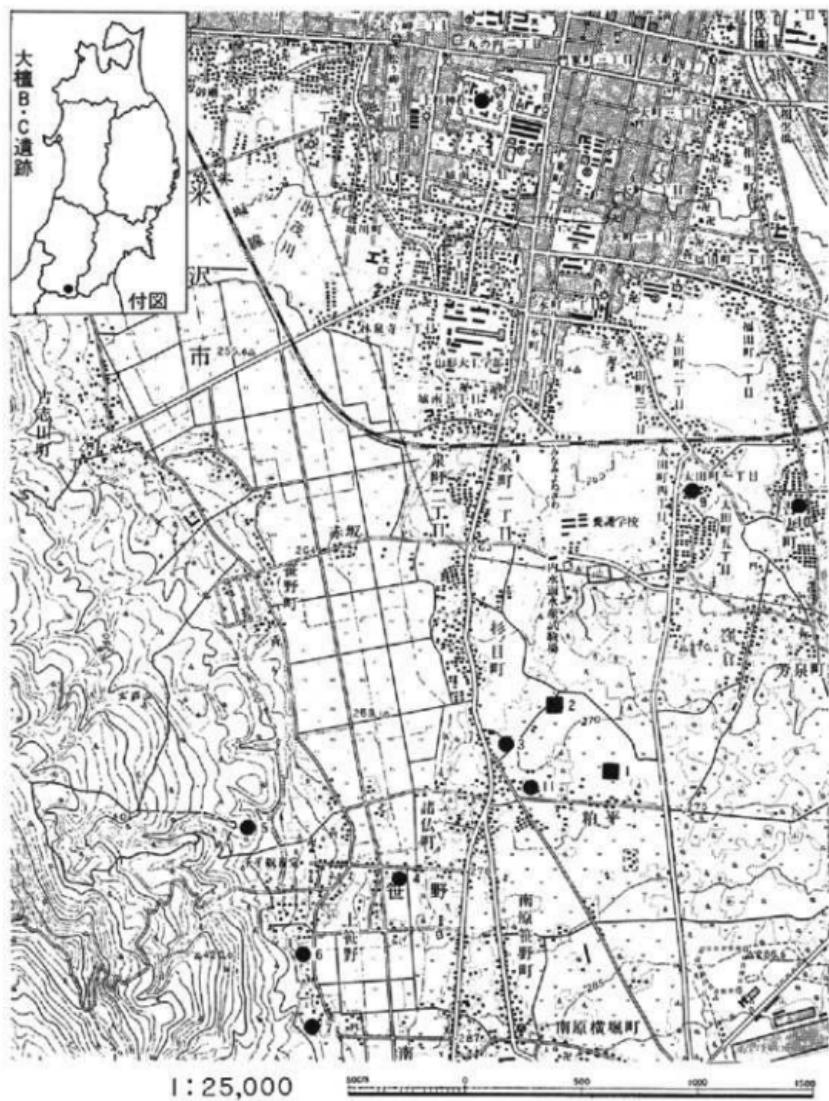


図1 遺跡位置図

- |           |          |          |
|-----------|----------|----------|
| 1. 大櫻B遺跡  | 2. 大櫻C遺跡 | 3. 大塚山遺跡 |
| 4. 一本橋遺跡  | 5. 笹野筋遺跡 | 6. 館ノ内遺跡 |
| 7. 高山裏遺跡  | 8. 米沢城跡  | 9. 太田遺跡  |
| 10. 台ノ上遺跡 | 11. 大櫻遺跡 |          |

### III 検出遺構

#### I 遺跡の層序

本遺跡は松川扇状地扇央部に位置するため、北西方向へ傾斜している。全体になだらかな傾斜であるが、所によりわずかな起伏がある。

層序は基本的に9層に分けられる。上からI層暗褐色土(耕作土)、II層黄褐色細砂質土、III層黒褐色細砂質土、IV層褐色粗砂質土、V層暗褐色細砂質土、VI層黄褐色粗砂質土、VII層暗褐色細砂質土、VIII層暗黃褐色粗砂質土、IX層暗黃褐色砂(川原石)で、遺物包含層はIII・V層にある。

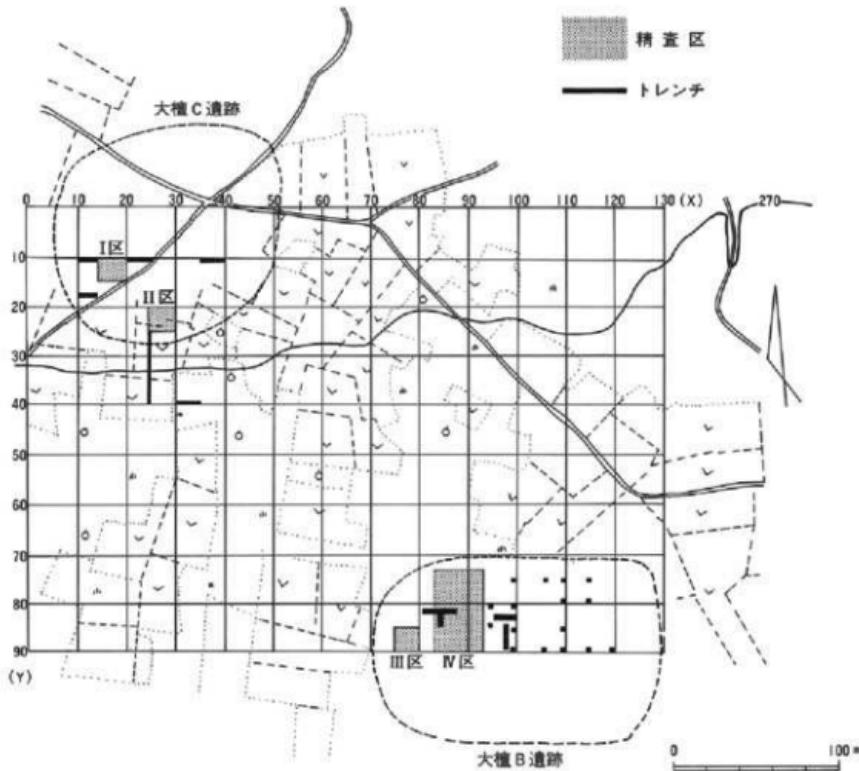


図2 遺跡全体図

## 2 III区の遺構

III区は、76~80~86~90G、225m<sup>2</sup>を掘り下げ、精査した。

遺構はIV層上面で検出したが、ピット、落ち込み状のものだけである。遺物は伴出していない。ピットは径10~40cmのものが主で、掘り込みも浅い。埋積土は暗褐色土でIV層の褐色土と區別が付けがたい面があった。

III層下面で、土器碎片を少量出土したが、摩耗が著しく時期決定資料とは成りえない。

## 3 IV区の遺構

IV区は、84~93~74~90G、1530m<sup>2</sup>を掘り下げ、精査した。遺構を検出したIV層上面及びその上下層とも北側へ緩やかに傾斜している。竪穴住居跡5棟、焼土7基、土坑、ピット、礫集中域、等の遺構を検出した。遺構は精査区全域に広がっており、各遺構間の重複はそれほど頻繁ではない。

### (1) S T 6 住居跡(図5・7・13、PL 7)

精査区北辺に位置しており、S T 7 住居跡と重複しこれよりも新しい。楕円形の平面プランを呈する竪穴住居跡である。長径4.9m、短径3.7m、深さ20cmを測る。床面は平坦でしまっている。壁は45°程の傾斜をもって立ち上がる。炉跡は検出されなかった。径20~25cm、深さ10~20cmのピットを8基検出したが柱穴とは成りえないような配置を示す。住居跡の西・東側で土器、剝片が集中して出土している。

### (2) S T 7 住居跡(図5・7・13、PL 7)

不整な円形の平面プランを呈する竪穴住居跡である。長径3.7m、短径3.6m、深さ24cmを測る。床面は平坦でしまっている。壁は45°程の傾斜をもって立ち上がる。炉跡は検出されなかった。径22~42cm、深さ5~20cmのピットを5基検出した。住居跡の南東側で土器、剝片が集中して出土している。

### (3) S T 11 住居跡(図5・6、PL 7)

精査区南辺に位置し、S T 10 住居跡と重複しこれよりも新しい。不整な円形の平面プランを呈する竪穴住居跡である。長径5.5m、短径4.9m、深さ12cmを測る。床面は平坦でしまっている。炉跡は検出されなかった。径20cm、深さ10cm程のピットを13基検出した。

### (4) S T 10 住居跡(図5・6、PL 9)

不整な方形の平面プランを呈する竪穴住居跡である。長軸4.5m、深さ10cmを測る。床面は平坦でしまっている。炉跡は検出されなかった。径20~30cm、深さ5~10cmのピットを15基検出した。

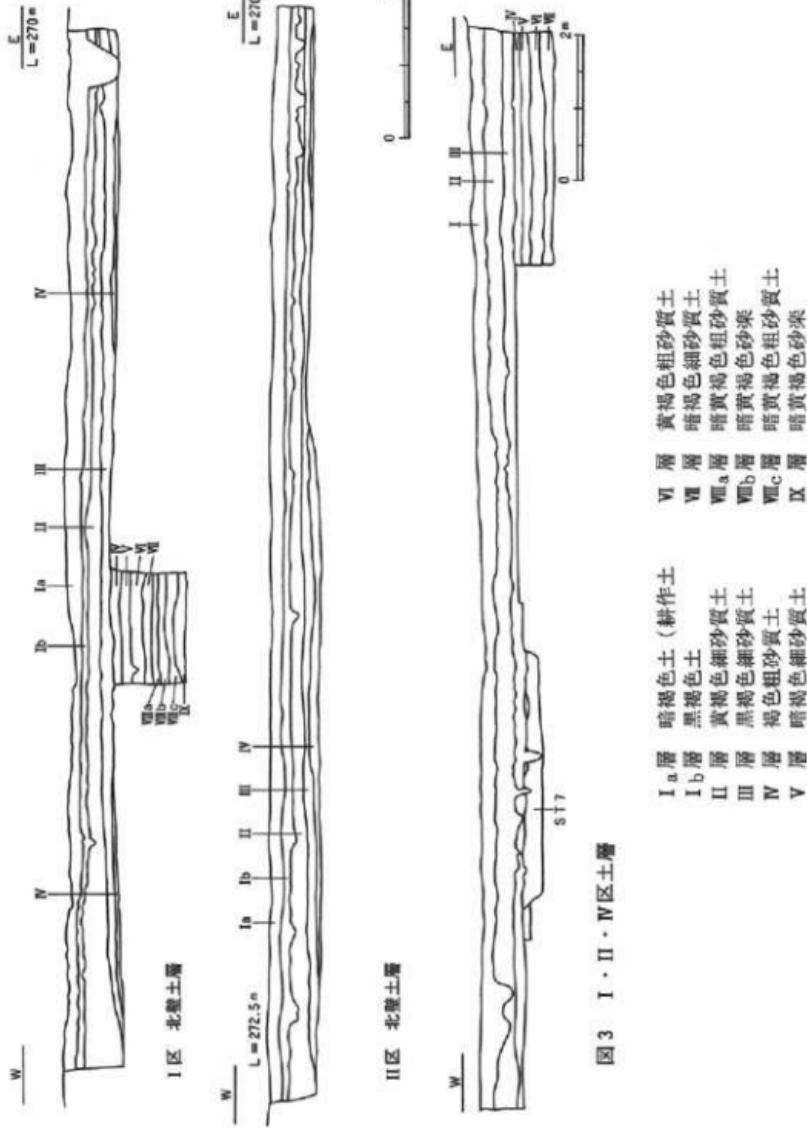


图3 I·II·III区土壤

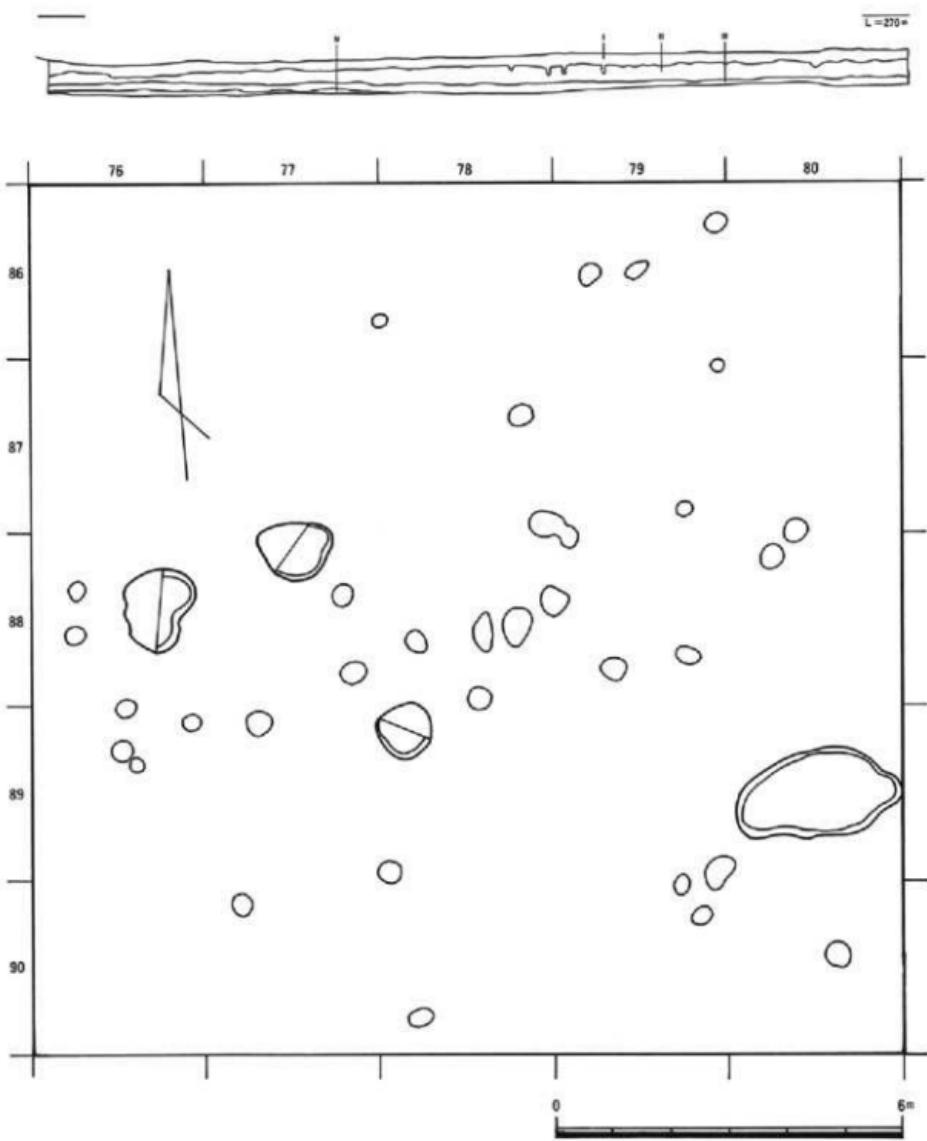


図4 III区遺構平面図・土層図 ( $s = \sqrt[3]{100}$ )

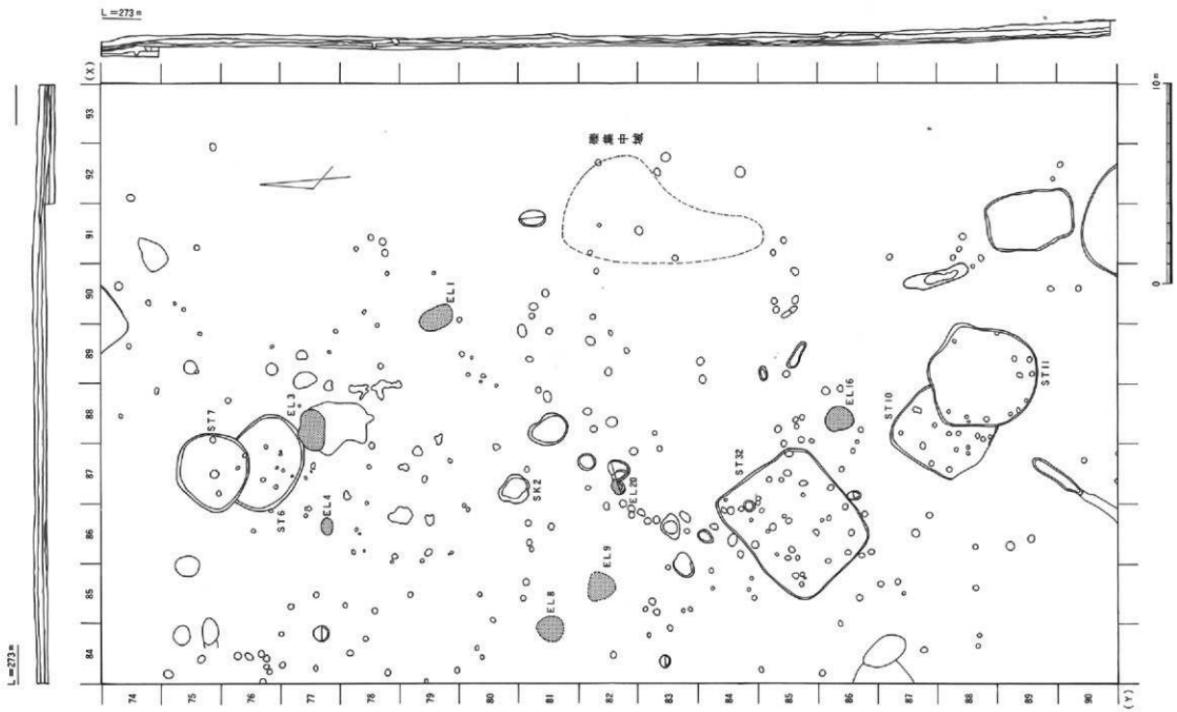


図5 IV区遺構平面図・土層図

(5) ST32住居跡(図5・8、PL9)

隅丸方形の平面プランを呈する竪穴住居跡である。長軸6.5m、短軸5.4m、深さ10cmを測る。床面は平坦でしまっている。炉跡は検出されなかった。径20~50cmのピットを35基検出した。

(6) SK2土坑(図5・9、PL10)

87-80Gにあり、不整な楕円形の平面プランを呈する。長径1.56m、短径1.5m、深さ70cmを測る。横断面は中央部が落ち込み、東側にテラス状の平坦面を持つ。埋積土は3層を除き、自然堆積状況をしめす。遺物の出土は無い。

(7) 焼 土(図5・10・14、PL8)

EL1・3・4・8・9・16・20の7箇所がある。いずれも明赤褐色の色調である。EL3・4、EL8・9が近接してある。

EL1は楕円形で長径1.7m、短径1mを測る。中心から半径3mの範囲で土器片、剝片、礫が集中して出土している(図10)。検出面から中心部で7cm下まで熱変化を受けて焼土化している。

EL3はST6南東に接してあり、楕円形を呈し長径2m、短径1.3mを測る。中心から半径3mの範囲で土器片、剝片、礫が集中して出土している。

EL4はST6南西にあり、楕円形を呈し長径0.9m、短径0.6mを測る。

EL8は84-81Gに位置し、EL9と近接する。円形を呈し、径1.2~1.4mを測る。中心から半径3mの範囲で土器、石器、剝片、礫が集中して出土している。

EL9はEL8の南西にあり、不整の楕円形を呈し、径1.4mを測る。中心から半径3.5mの範囲で土器、石器、剝片、礫が集中して出土している。

EL8・9の遺物出土状況は、土器・剝片共に小さなブロック状のまとまりを呈し、それらが各焼土を中心の一定の範囲内(3~3.5m)にある。

EL16は88-86Gにあり、不整の楕円形を呈し、長径1.4m、短径1.1mを測る。中心から1.2mの範囲で土器片、剝片が出土している。

EL20は87-82Gにあり、不整の楕円形を呈し、長径80cm、短径60cmを測る。周辺で僅かに土器片、礫が出土している。

以上を見ると規模が1m以内のもの(EL4・30)、1~1.5mのもの(EL1・8・9・16)、1.6~2mのもの(EL3)の三つに分けられる。

これら焼土及び遺物集中域は、焼土を中心に遺物が分布することや、遺物と焼土検出面との高低差であることなどを加味すれば、生活の場として活用されたことを物語っているのではなかろうか。

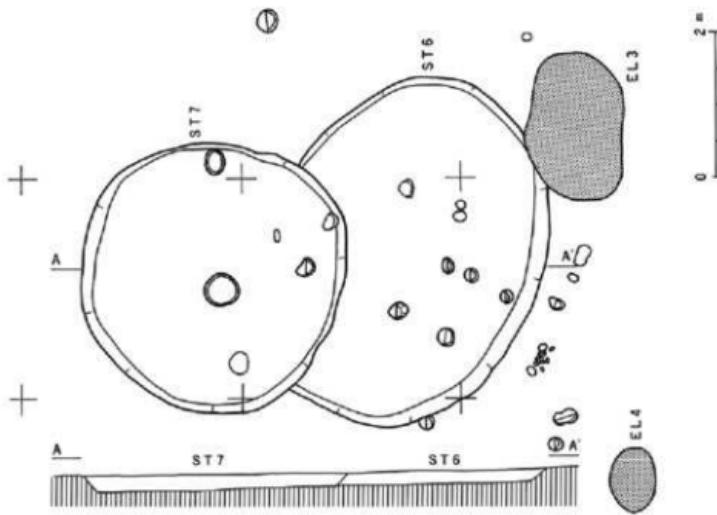


図 7 ST 6・7住居跡

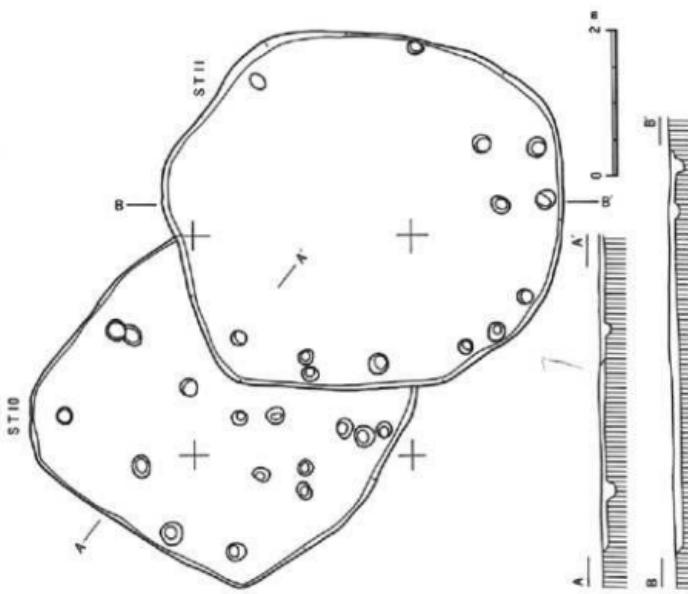
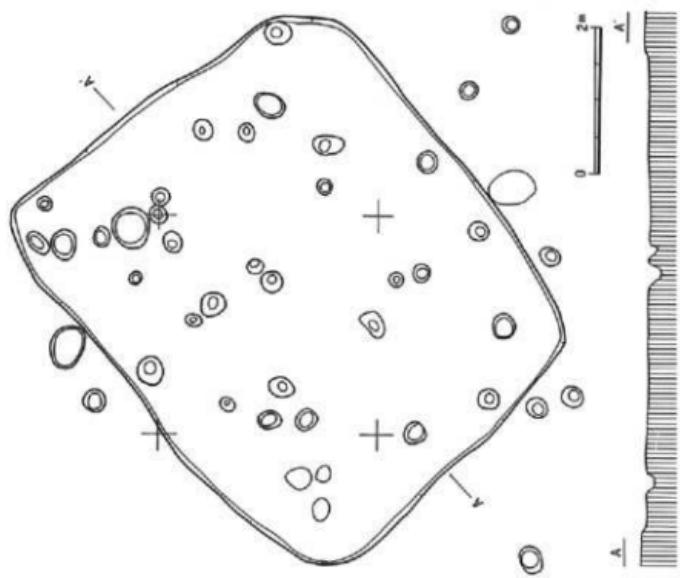


図 6 ST 10・11住居跡

図8 ST32住居跡



SK2土坑  
1号 喀麥褐色土(深褐色土質、既化物微量)  
2号 喀麥褐色土(淺褐色土質、既化物微量)  
3号 喀麥褐色土(細小的深褐色土質、既化物微量)  
4号 喀麥褐色土(土質褐色、既化物微量)  
5号 黑褐色土(深褐色土質、既化物微量)  
6号 喀麥褐色土(土質褐色)

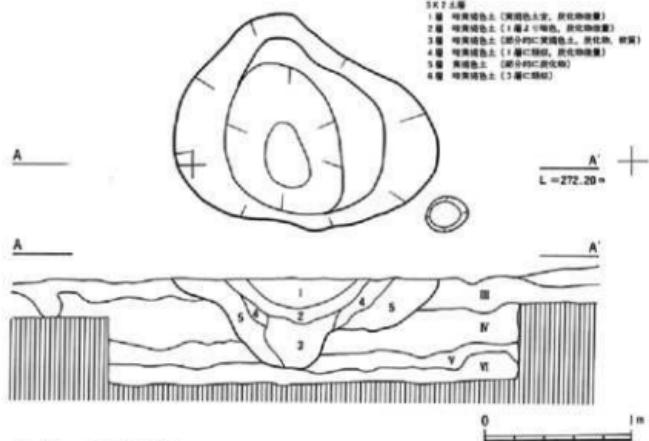


図9 SK2土坑

### (8) 磁集中域 (図 5・10・11・12)

91・92・82～84Gにおいて磁が集中して出土している。特に91-82G(110点)・91-83G(140点)で密集している。これらは無秩序な分布で、配置されたような状態では無い。磁の径は3～10cm大の川原石で安山岩、花崗岩が多い。土器片も若干出土している。凹石が4点、磨石が27点出土している。磨石には径3cm程の局部を磨っているものが多い。

## IV 出土遺物

### I 遺物の分布

I・II区では遺物の出土は無かった。III区では磨耗が烈しい土器碎片が少量出土したにすぎない。分布調査においてもそうであったが、IV区を中心とした地域に土器・石器が遺存していることが明らかとなった。IV区の土器は縄文時代前期から中期にかけての所産であるが、調査時における出土量も整理箱にして約40箱と少なく、特に住居跡・焼土を中心に出土している。また、IV区東側の坪掘・トレンチから中期の土器類が若干出土している。

### 2 石 器

本遺跡から出土した石器には、石鎌3点、範状石器2点、石匙2点、削器2点、搔器7点、凹石10点、磨石47点、砥石3点、石皿2点がある。また、磁が580点も出土している。

剝片は470点出土した。重量別にすると1～20gが364点、21～50gが76点、51～100gが17点、101～200gが13点となる。

石鎌1・2(図18)は無茎で基部のえぐりは浅い。3は未製品と思われる。

範状石器4(図19)は木葉状を呈し両側縁に部分的な片面加工を加えている。

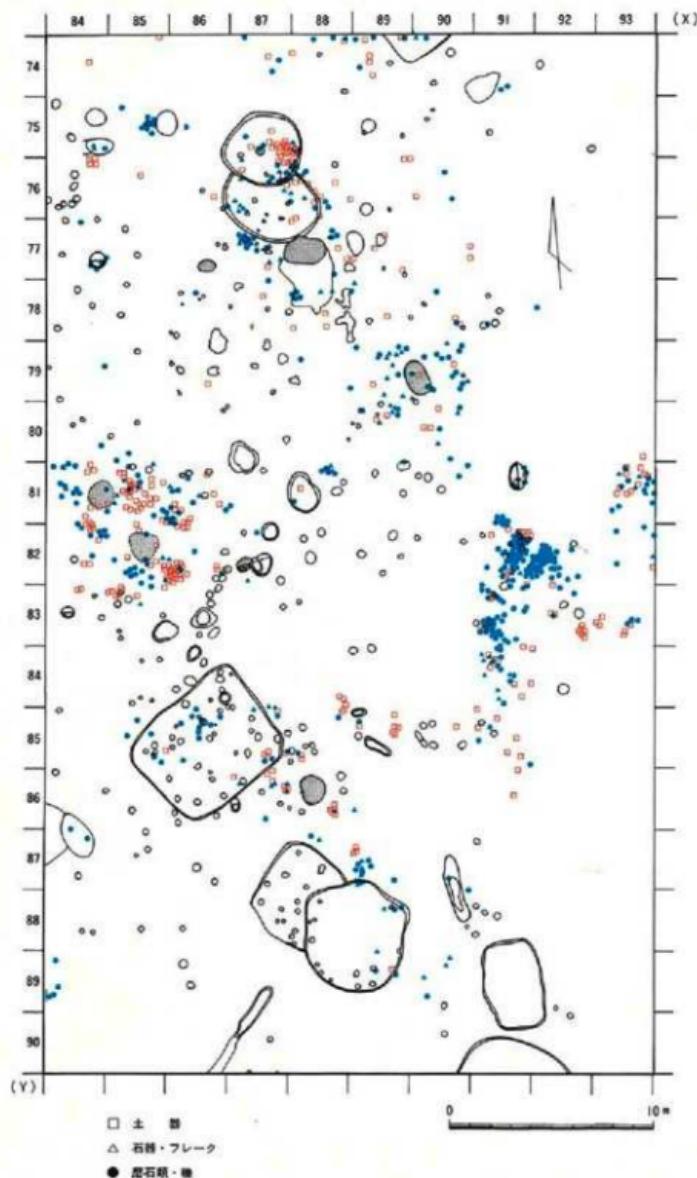
石匙は2点とも縦型である。6(図19)は両面に主要剥離面を残し、側縁と小さく作り出されたツマミ部に片面加工がなされている。7は自然面、主要剥離面を残し、周縁部に片面加工がなされている。ツマミ部は太く調整も行き届いていない。

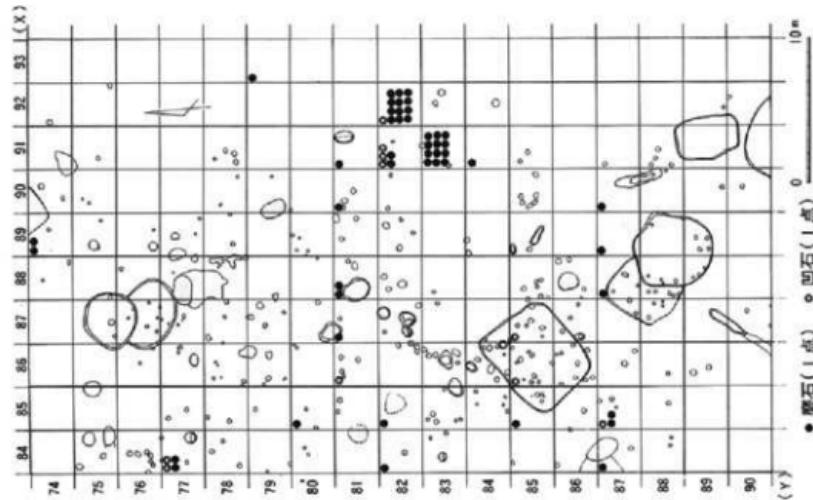
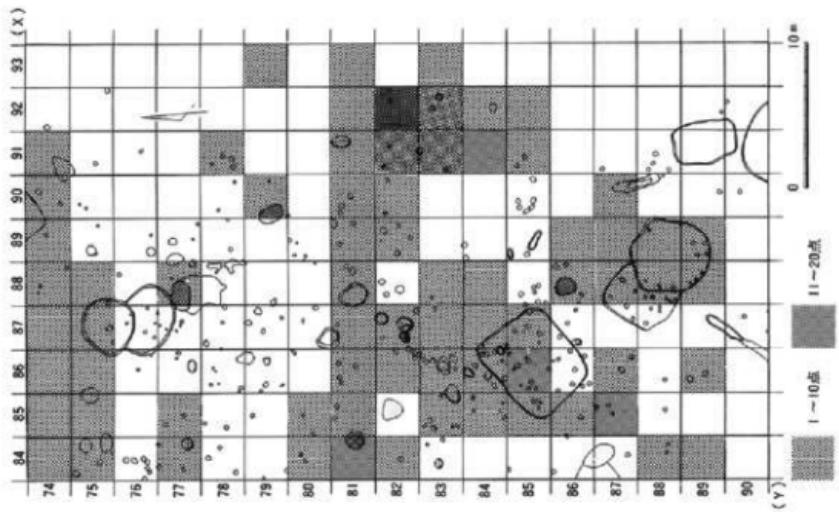
削器8は一方の側縁にのみ片面加工がされ、9は両側縁に片面加工がなされている。

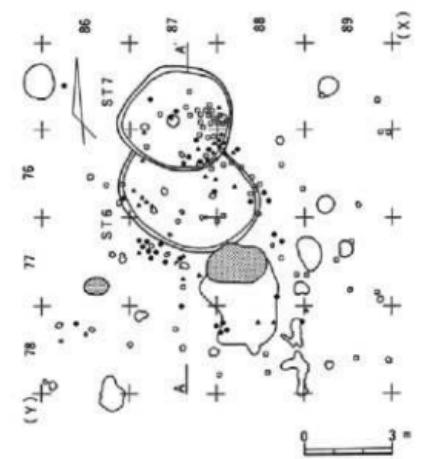
搔器10～16(図19)は主要剥離面を残し、先端、周縁途中まで片面加工・細調整がなされている。

凹石は、若干偏平な川原石を使用している。偏平な両面にくぼみが1～3箇所あり、この面が擦られているものが殆どである。

磨石に、径3cm程の川原石の局部を平坦に擦ってあるものがあり、91・92・82～84Gの磁集中域より出土したものが多い。用途は不明である。







-15-

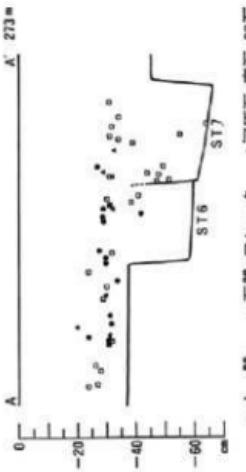
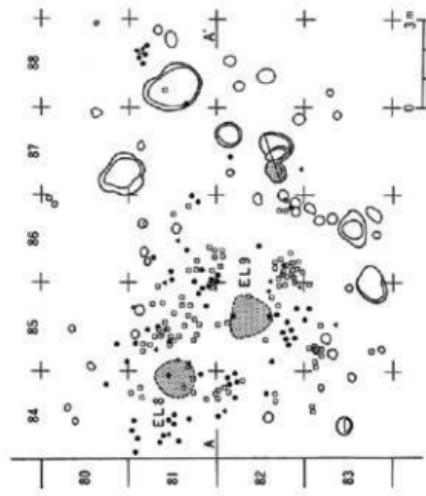


図13 ST6・7遺物分布図

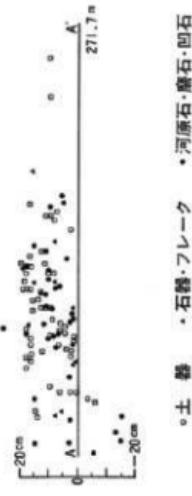


図14 EL8・9遺物分布図

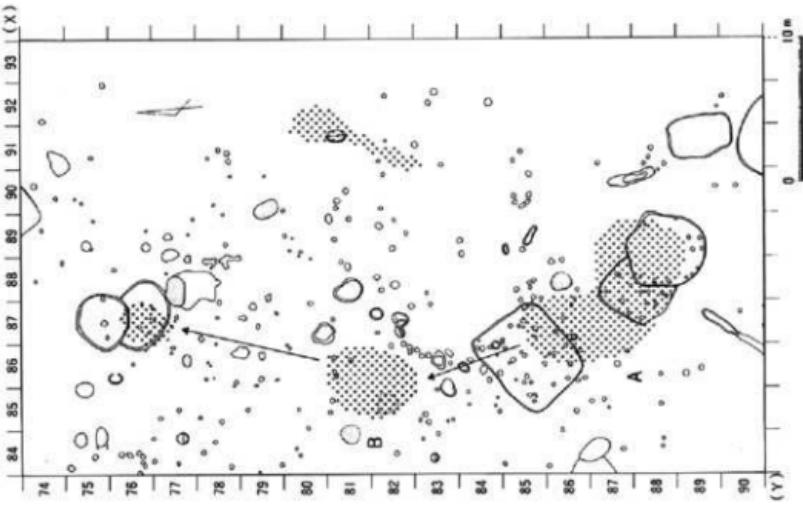


図16 接合石片分布図



図15 IV区石器分布図

表1 接合剥片組成表

| 資料No.   | 出土地点    | 分布地区 | 分類  | 性状 | 表面 | 接合 | 接合部位 | 備考     |
|---------|---------|------|-----|----|----|----|------|--------|
| 1       | 88 - 89 | A    | S   |    |    | ○  | 8    |        |
| 2       | 87 - 88 | "    | F S | 欠損 |    |    |      |        |
| 3       | 81 - 92 | "    |     |    |    |    |      |        |
| 4       | S T 10  | "    |     |    |    | ○  | 6    |        |
| 5       | 86 - 87 | "    | S   |    |    |    |      |        |
| 6       | S T 10  | "    |     |    |    |    |      |        |
| 7       | S T 11  | "    |     |    |    |    |      |        |
| 8       | 86 - 87 | "    |     |    | 有  |    |      |        |
| 9       | 89 - 87 | "    |     |    | 有  |    |      |        |
| 10      | 86 - 88 | "    | S   | 欠損 |    |    |      |        |
| 11      | S T 10  | "    |     |    | 有  |    |      |        |
| 12      | 88 - 87 | "    |     |    | 有  |    |      |        |
| 13      | S T 11  | "    | F S |    | 有  | ○  | 3    |        |
| 14      | 85 - 87 | "    |     |    |    |    |      |        |
| 15      | 89 - 88 | "    |     |    | 有  |    |      |        |
| 16      | 88 - 88 | "    |     |    |    |    |      |        |
| 17      | S T 11  | "    |     |    | 有  | ○  | 1    |        |
| 18      | 89 - 87 | "    | S   |    |    | ○  | 1    |        |
| 19      | 86 - 87 | "    |     |    |    |    |      |        |
| 20      | 85 - 82 | B    |     |    |    | ○  | 2    |        |
| 21      | 85 - 81 | "    |     |    |    | ○  | 5    |        |
| 22      | 85 - 82 | "    |     |    | 有  |    |      |        |
| 23      | 86 - 85 | "    |     |    |    |    |      | ポリッシュ有 |
| 24      | 85 - 81 | "    |     |    |    |    |      |        |
| 25      | 83 - 85 | "    |     |    | 有  |    |      |        |
| 26      | 85 - 81 | "    |     |    | 有  |    |      |        |
| 27      | 85 - 82 | "    |     |    | 有  |    |      |        |
| 28      | 85 - 82 | "    |     |    | 有  |    |      |        |
| 29      | 85 - 81 | "    |     |    |    |    |      |        |
| 30      | 87 - 77 | C    |     |    | 有  | ○  | 7    |        |
| 31      | S T 6   | "    |     |    |    |    |      |        |
| 32      | 87 - 76 | "    | S   |    | 有  | ○  | 2    |        |
| 33      | 89 - 78 | "    |     |    | 有  |    |      |        |
| 34      | 87 - 76 | "    |     |    | 有  |    |      |        |
| 35      | S T 6   | "    | F T |    | 有  | ○  | 9    |        |
| 36      | 87 - 77 | "    | S   |    |    |    |      | ポリッシュ有 |
| 37      | 79 - 91 | "    |     |    |    | ○  | 4    |        |
| 38 - 53 | W E     |      |     |    |    |    |      |        |

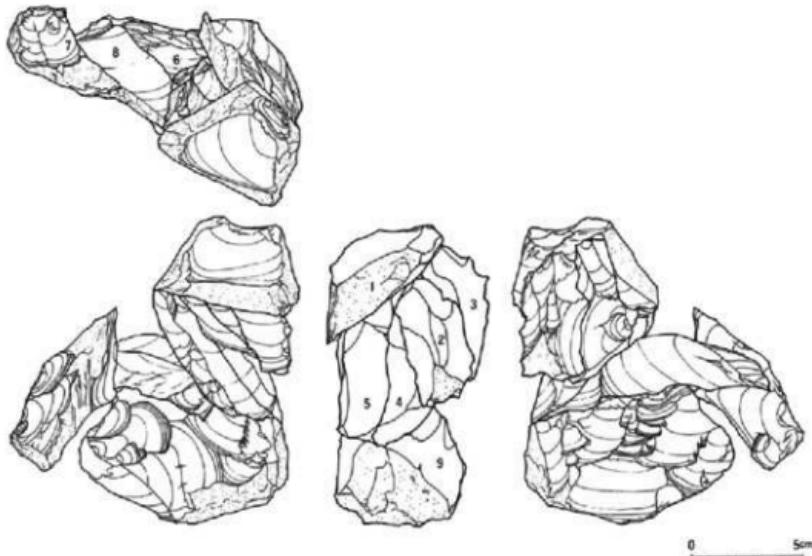


図17 接合剥片実測図

表2 石器觀察表(1)

| 番号 | 器種   | 器長<br>(mm) | 器幅<br>(mm) | 器厚<br>(mm) | 重量<br>(g) | 石質   | 摘要    | 出土地点・層           |
|----|------|------------|------------|------------|-----------|------|-------|------------------|
| 1  | 石鎌   | 28         | 17         | 4          | 1.1       | 頁岩   |       | IV区包含層           |
| 2  | "    | 21         | 17         | 5          | 1.2       | チャート |       | 90-89・III(RQ161) |
| 3  | " ?  | 23         | 21         | 7          | 2.7       | "    |       | 89-75・III        |
| 4  | 範状石器 | 124        | 53         | 22         | 128       | 頁岩   | 欠損    | 85-83・III(RQ90)  |
| 5  | "    | 24         | 42         | 14         | 12        | "    | "     | IV区包含層           |
| 6  | 石匙   | 61         | 46         | 7          | 14        | "    | ボリッシュ | 90-79・III        |
| 7  | "    | 87         | 41         | 15         | 52        | "    | "     | 92-83・III        |
| 8  | 削器   | 59         | 43         | 5          | 10        | "    | "     | 89-85・III        |
| 9  | "    | 68         | 44         | 8          | 32        | "    |       | S T 6 (R Q28)    |
| 10 | 搔器   | 36         | 26         | 11         | 10        | チャート |       | 93-80・III        |
| 11 | "    | 28         | 20         | 12         | 5         | "    |       | 88-82・III        |
| 12 | "    | 39         | 22         | 14         | 10        | "    |       | 85-81・III        |
| 13 | "    | 40         | 27         | 9          | 6         | 頁岩   |       | 88-78・III        |
| 14 | "    | 57         | 25         | 12         | 7         | "    |       | 89-78・III        |
| 15 | "    | 57         | 26         | 16         | 10        | "    |       | 81-92・III        |
| 16 | "    | 54         | 35         | 20         | 17        | "    |       | 89-79・III        |

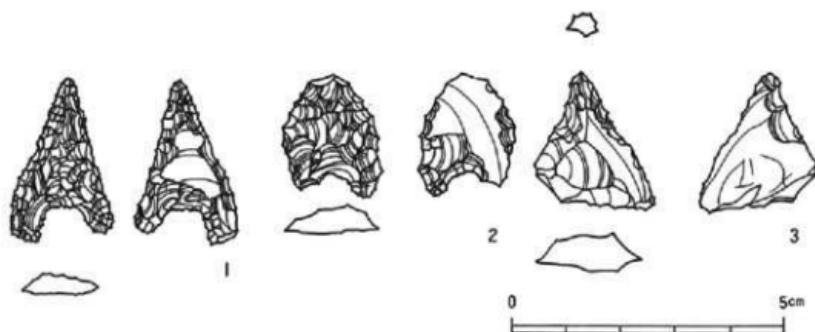


図18 石器実測図

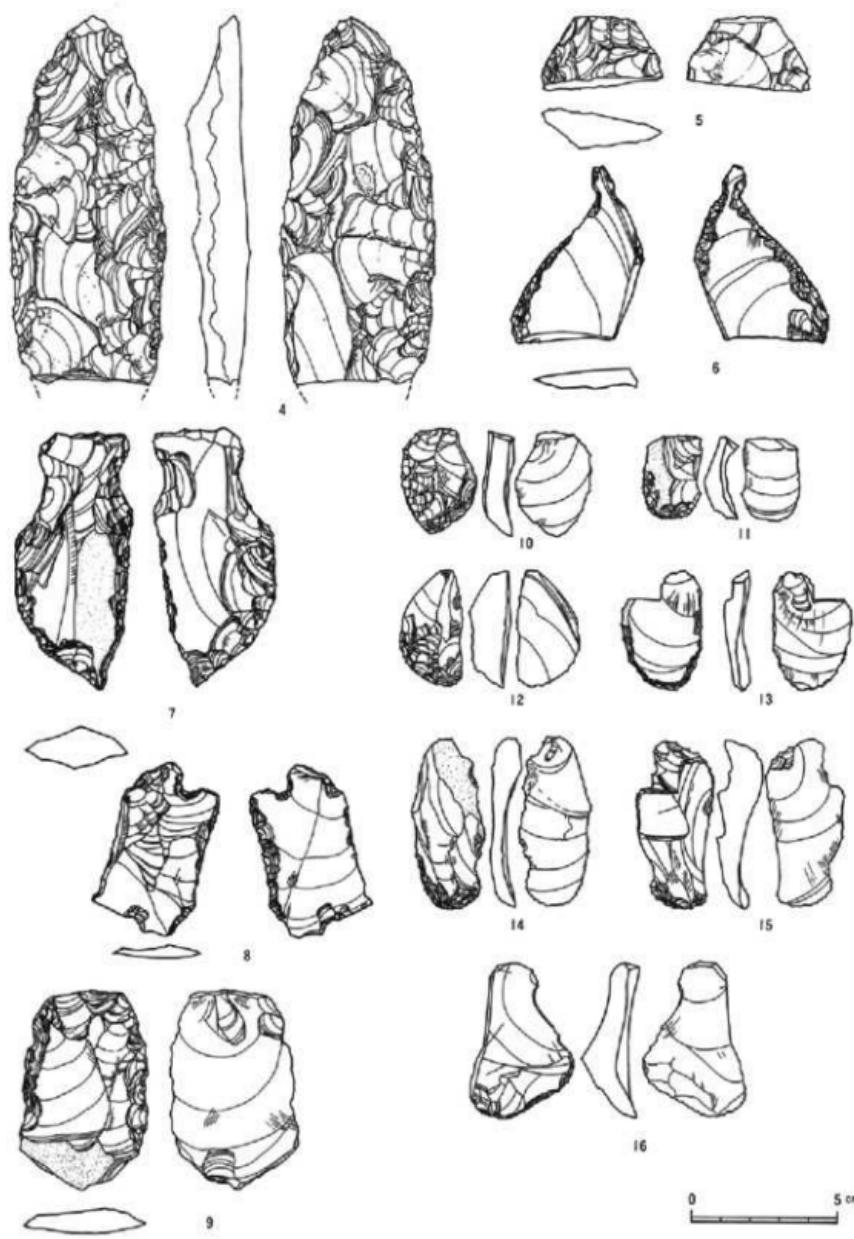


図19 石器実測図（2）

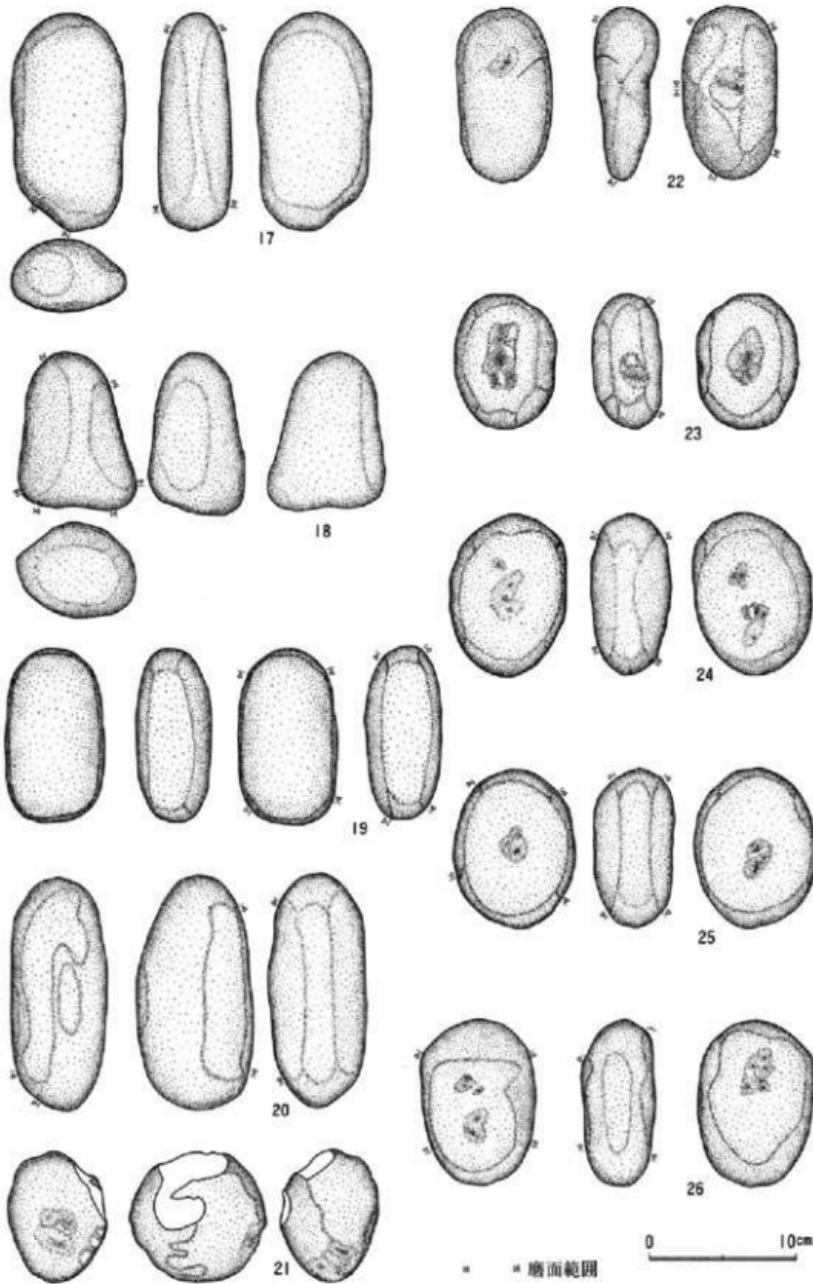


図20 石器実測図 (3)

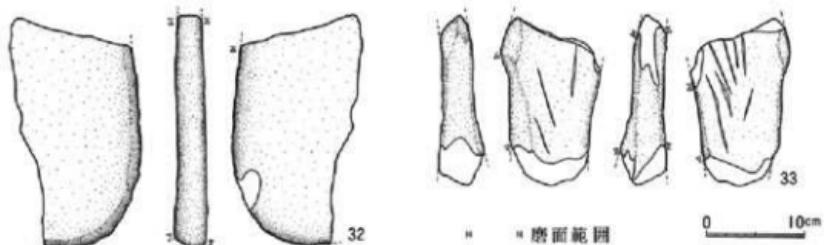
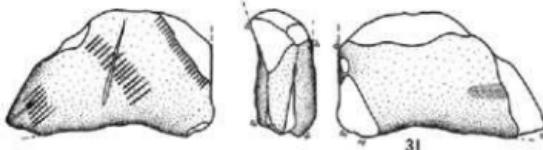
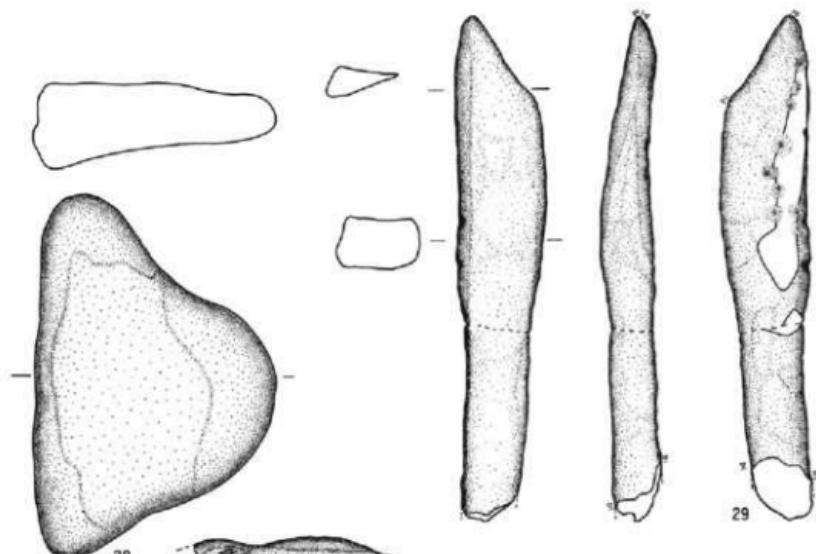
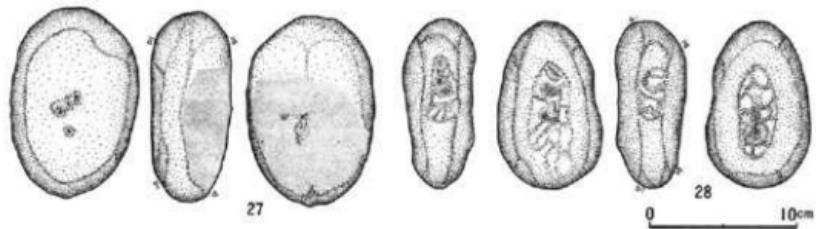


図21 石器実測図 (4)

表3 石器観察表(2)

| 番号 | 器種    | 器長<br>(mm) | 器幅<br>(mm) | 器厚<br>(mm) | 重量<br>(g) | 石質  | 摘要     | 出土地点・層             |
|----|-------|------------|------------|------------|-----------|-----|--------|--------------------|
| 17 | 磨石    | 149        | 89         | 49         | 718       | 安山岩 |        | IV区 88-76・III      |
| 18 | 磨石    | 106        | 63         | 55         | 732       | 安山岩 |        | IV区 89-79・III      |
| 19 | 磨石    | 119        | 65         | 51         | 661       | 安山岩 |        | IV区 90-79・III      |
| 20 | 磨石    | 160        | 80         | 65         | 970       | 安山岩 |        | R Q42              |
| 21 | 凹石    | 94         | 87         | 64         | 598       | 安山岩 |        | IV区 90-79・III      |
| 22 | 凹石    | 116        | 65         | 44         | 342       | 安山岩 |        | 86-81・III          |
| 23 | 凹石    | 91         | 68         | 48         | 330       | 安山岩 |        | 83-85・III          |
| 24 | 凹石    | 111        | 80         | 59         | 602       | 安山岩 |        | IV区 87-78・III      |
| 25 | 凹石    | 110        | 83         | 53         | 543       | 安山岩 |        | 86-78・III          |
| 26 | 凹石    | 115        | 79         | 50         | 633       | 安山岩 |        | 89-76・III          |
| 27 | 凹石    | 130        | 82         | 55         | 744       | 安山岩 | (赤色顔料) | R Q43              |
| 28 | 凹石    | 114        | 70         | 45         | 405       | 安山岩 |        | 87-85・III          |
| 29 | 砸石・凹石 | 516        | 57         | 54         | 1289      | 凝灰岩 | (凹有り)  | R Q100             |
| 30 | 石皿    | 370        | 250        | 86         | 8840      | 安山岩 |        | R Q136             |
| 31 | 砸石    | 130        | 213        | 62         | 1430      | 安山岩 |        | 88-87・III (R Q128) |
| 32 | 石皿    | 235        | 133        | 34         | 1210      | 安山岩 |        | IV区 89-78・III      |
| 33 | 砸石    | 176        | 85         | 33         | 700       | 花崗岩 |        | IV区 87-77・III      |

### 3. 接合剥片

剥片は470点あり、接合可能なものがそれぞれ2・2・2・4・3・11点あった。

11点が接合した剥片については(図17)、鎧状石器4(図19)と同じ赤褐色を呈する頁岩であり、非接合の物も含めると53点あり、同一石材と考えられる。

図17の接合資料には、少なくとも6回の打面転位が確認される。剥片生産は母岩とする片側から順に進められ、一作業面から4~8枚の剥片が取られた。作業面は、剥離作業の進行と石核の形態変化に合わせて移動している。生産された剥片に、規則性は認められない。残核は鎧状石器4(図19)と考えられる。

これら53点(P L17)の剥片の出土地点(図16・表1)を見るに、住居跡・焼土に伴い分布していることが解る。剥片の分布状況、接合資料の生産状況から、石核がA→B→IV区外→Cへと移動した可能性がある。生産された剥片・石器の多くはIV区外へ持ち運ばれた可能性がある。

## 4 土 器

IV区及びIV区東側の坪堀・トレンチから、縄文時代前期から中期にかけての土器が整理箱に約40箱出土している。このうちIV区出土の土器片は、1,117点を数える。とくにS T6・7、E L8・9・16、礎集中城での出土頻度が高い。破片が多く、器形が判るまでに復元できた物は少ない。

以下では、時期別に群に分け、さらに施文技法・文様モチーフ・文様エレメント、胎土・焼成などから類別を行い概要を記す。

### 第1群土器（縄文時代前期）

1類 半截竹管文を文様構成にもつもの（図22：1～11、図23：12）。

a：口縁部に横位の半截竹管刺突文が、1～2条施されるもの（1～3・9・12）。1・12は複合口縁ふうに口縁部が帯状に肥大している。9は胴部上半に菱形+並行線の半截竹管押引文が施され、菱形文の中心には粒が付く。

b：頸部に横位の半截竹管刺突文が、1～2条施されるもの（4～8）。8は口唇部を指頭押圧し波状口縁としている。

c：体部に半截竹管刺突・押引文が施されるもの（10・11）。

2類 粘土紐貼付上に半截竹管文が施されるもの（図23：13～16）。

a：幅太の粘土紐に横位の刺突文が施されるもの（13）。

b：細隆粘土紐を平行・锯齒状・斜状に貼付した結節状浮文が施されるもの（14～16）。

16は口縁部が並行刺突文、胴部上半の結節状浮文は縄文施文後に施されている。

3類 粘土紐貼付上に、棒状工具による斜位押圧が施されるもの（図24：18～22、図25：24）。いずれも頸部に一条の粘土紐を横位に貼付しており、土器と対面して右下がりに押圧されている。

4類 粘土紐貼付上に縄文压痕が施されるもの（図25：23）。

5類 粘土紐貼付文が施されるもの（図27：28・29）。28は胴部に二本の粘土紐で連続三角状文が施されている。

6類 頸部に鋸齒状文が施されるもの（図26：25・26、図27：27）。

a：複合口縁で頸部に横位の鋸齒状文、胴部上半に並行・波状沈線、刺突文、下半に斜格子状並行沈線が施されるもの（25）。

b：頸部に大振りの鋸齒状文、胴部に結節縄文が施されるもの（26）。

c：頸部に大振りの鋸齒状文、胴部上半に粘土紐貼付+棒状工具による斜位押圧、斜格子状・平行沈線文が施されるもの（27）。

7類 頸部に格状体压痕文が施されるもの（図27：30）。

8類 口縁部資料を一括する(図27:31~42、図28:43~45)。40は爪形刺突が施される。43・44は複合口縁風の作りを呈し、44は波状口縁と成っている。

9類 脊部資料を一括する(図27:46~49、図28:50)。46・47は結節繩文、48は並行沈線と斜状沈線が施されている。

10類 底部資料を一括する(図30:54~64、図31:65~70、図32:71~74)。

a : 無紋のもの(54~59・61・62・67)。67は粒状圧痕が付く。

b : 磨きのあるもの(60・63・64)。

c : 葉脈状圧痕のあるもの(65・66・68・70)。65・66・70は筈葉状圧痕である。

e : 網代状圧痕のあるもの(71~74)。74は網籠状の物に底部を置いて製作されたと考えられる。

全体の器形が「うか」がわれるものは少ないが、その大部分は、深鉢形土器・台付き様鉢形土器である。

器形を大まかに見ると、A : 口縁部が「く」の字状に屈曲し脣部上半が膨らむもの(18・26)、B : 口縁部が「く」の字状に屈曲し脣部が僅か膨らむもの(24・43)、C : 口縁部が「く」の字状に屈曲し脣部が大きく膨らむもの(8)、D : 口縁部の屈曲は少なく脣部が膨らむもの(1・7・12・30・45)、E : 底部から口縁部に向かって直線的に開くもの(6・20・25・42・38・44)、F : 口縁部の屈曲がきつく脣部上半が大きく膨らむ台付き様の鉢形土器(9・13・15・16・21~23・27~29)に分けられる。

## 第2群土器(繩文時代中期)

1類 縦位の並行沈線文が施されるもの(図29:51・52)。51は口縁部に横位の沈線が引かれ、ここより縦位に三本の平行沈線が間隔を置いて施される。

2類 隆起線文による渦巻文・懸垂文が施されるもの(図29:53)。

以上のように類別された土器の時期は、第1群土器は繩文時代前期大木6式期に、第2群土器は繩文時代中期大木8b式期にそれぞれ比定される。

## 5 土 製 品

耳飾りが3点出土している(図33)。

1は块耳飾りの残欠である。断面は隅丸方形を呈し、指頭調整による凹凸がある。赤色顔料が塗彩されている。E L 1の西側より出土している。

2・3は耳栓の残欠である。2は内・外径の側面ともに窪んでいる。E L 9の南側より出土している。3の断面は三日月状を呈している。

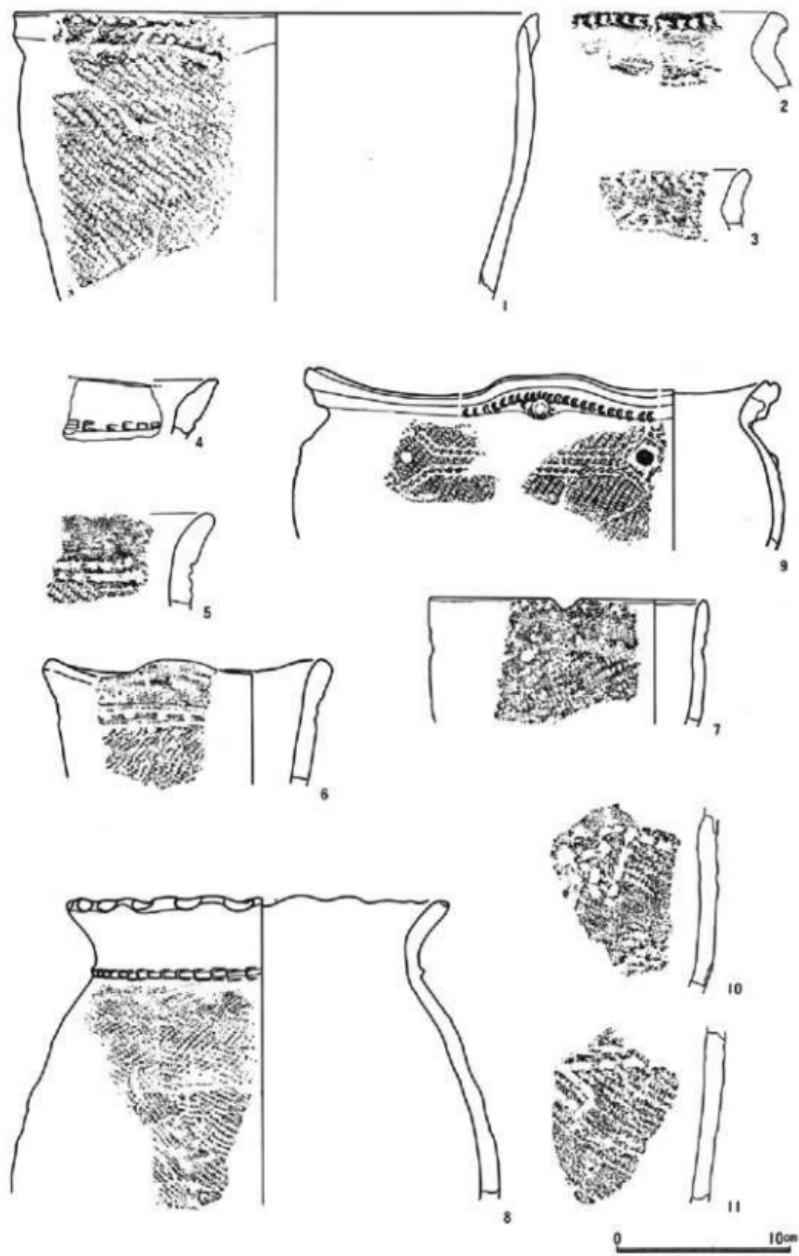
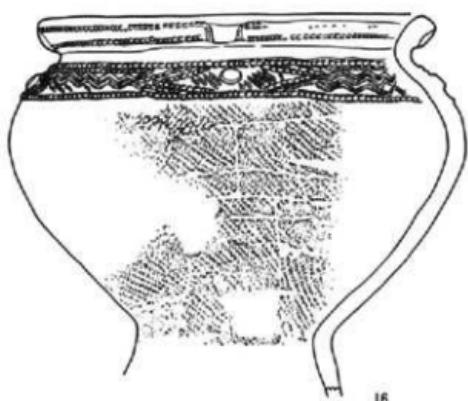
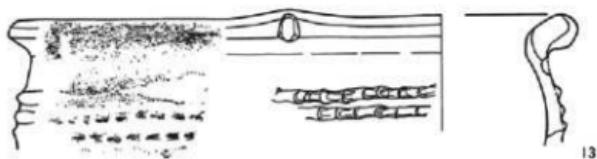
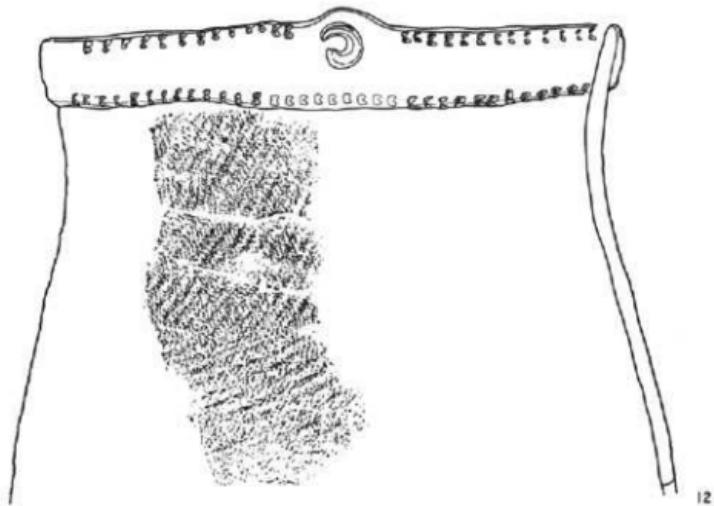


図22 土器拓影実測図（1）



0 10cm

图23 土器拓影实测图 (2)

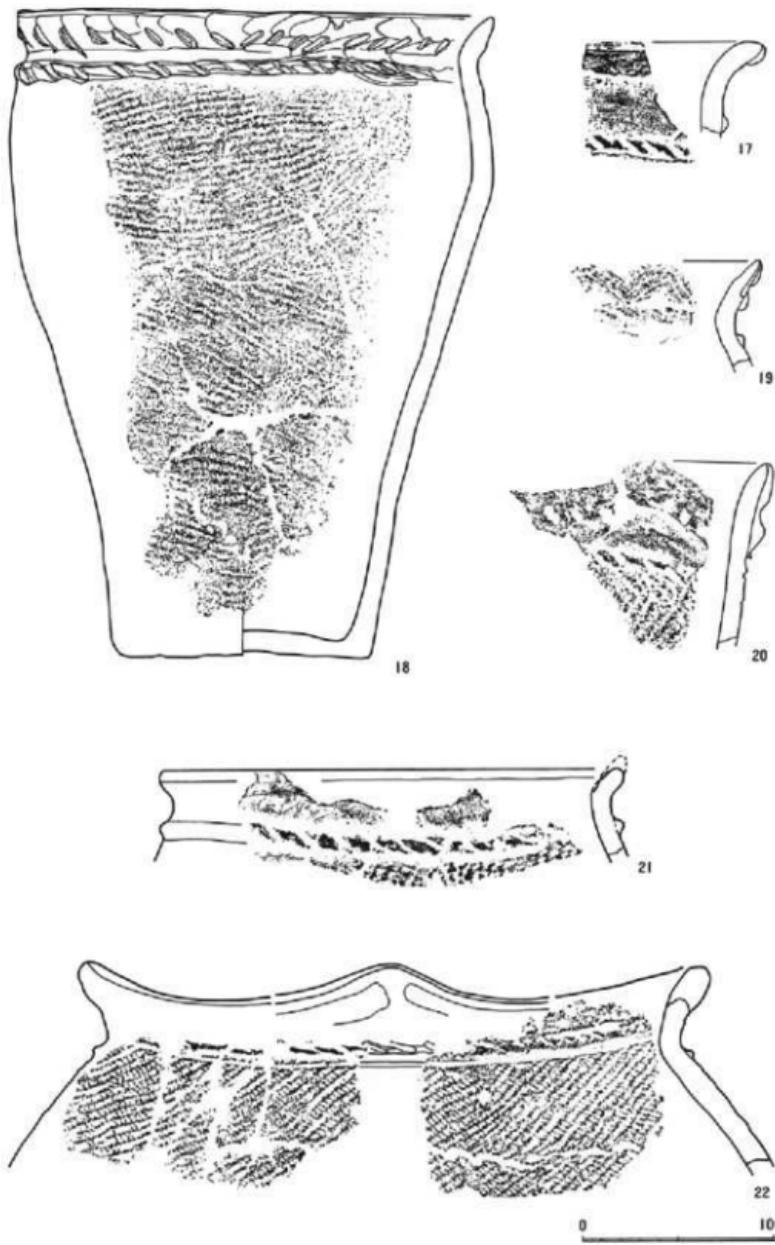
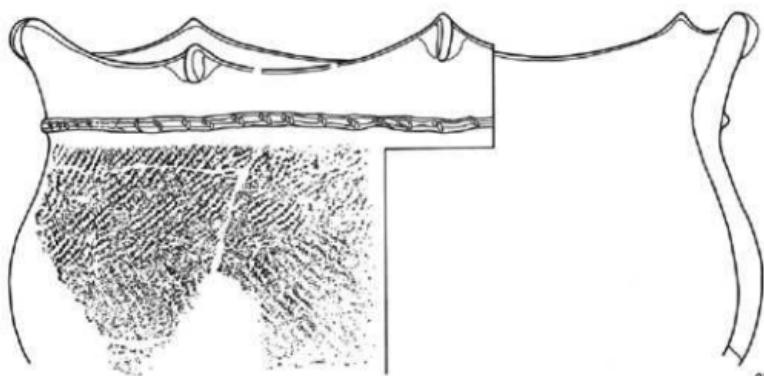


図24 土器拓影実測図（3）



23



24

0 10cm

図25 土器拓影実測図（4）

圖26 土器拓影實測圖（5）

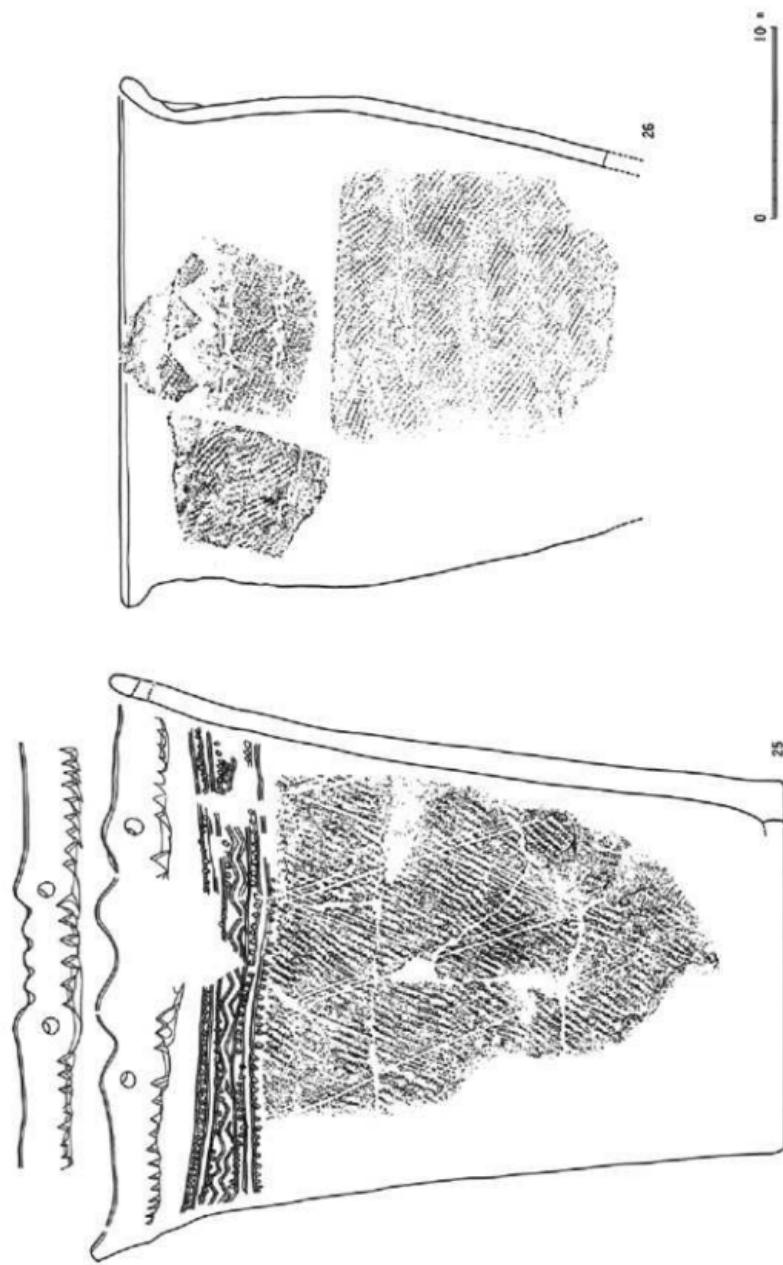




図27 土器拓影実測図（6）

圖28 土器拓影實測圖（7）

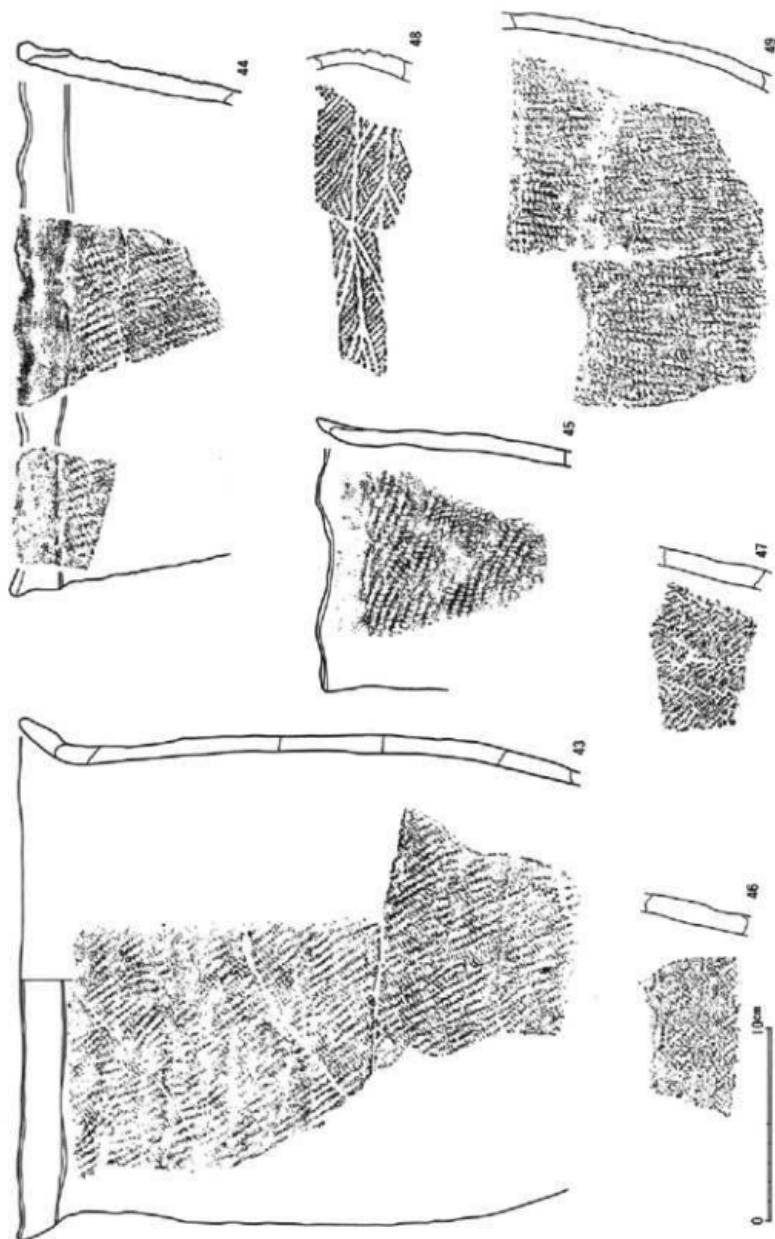
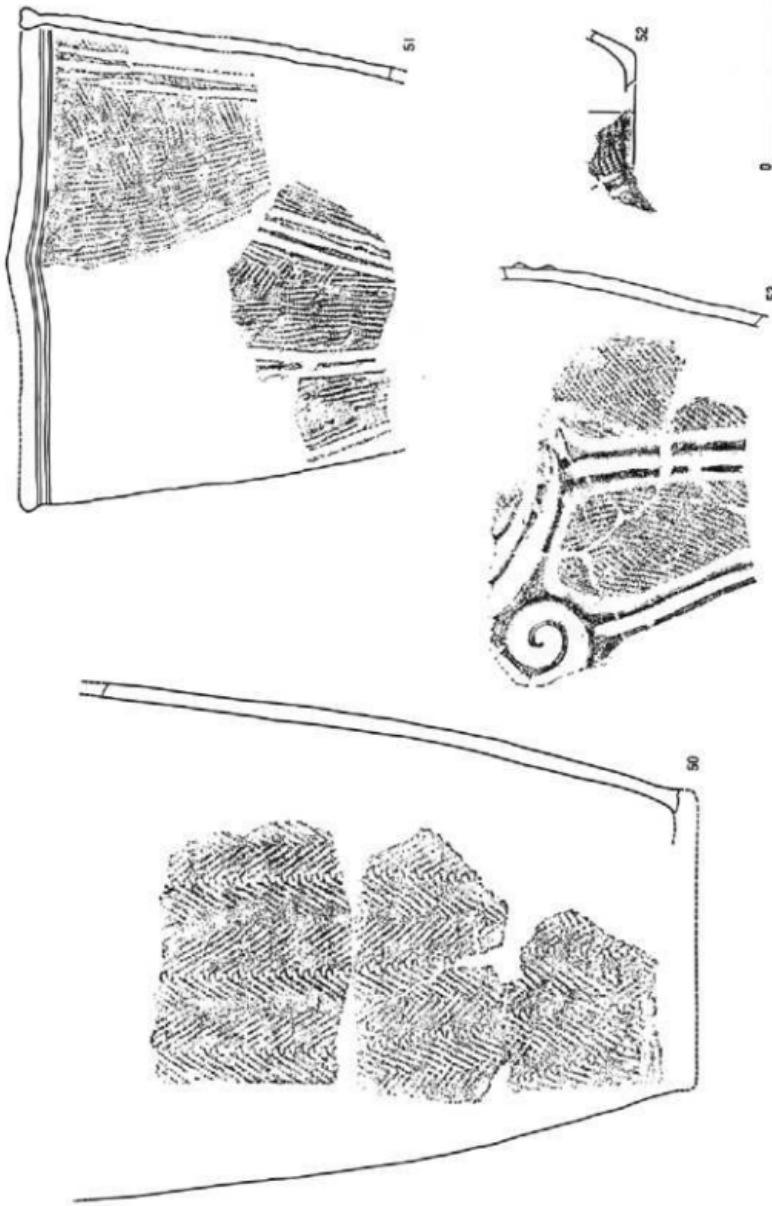


圖29 土器拓影実測図 (8)

10cm



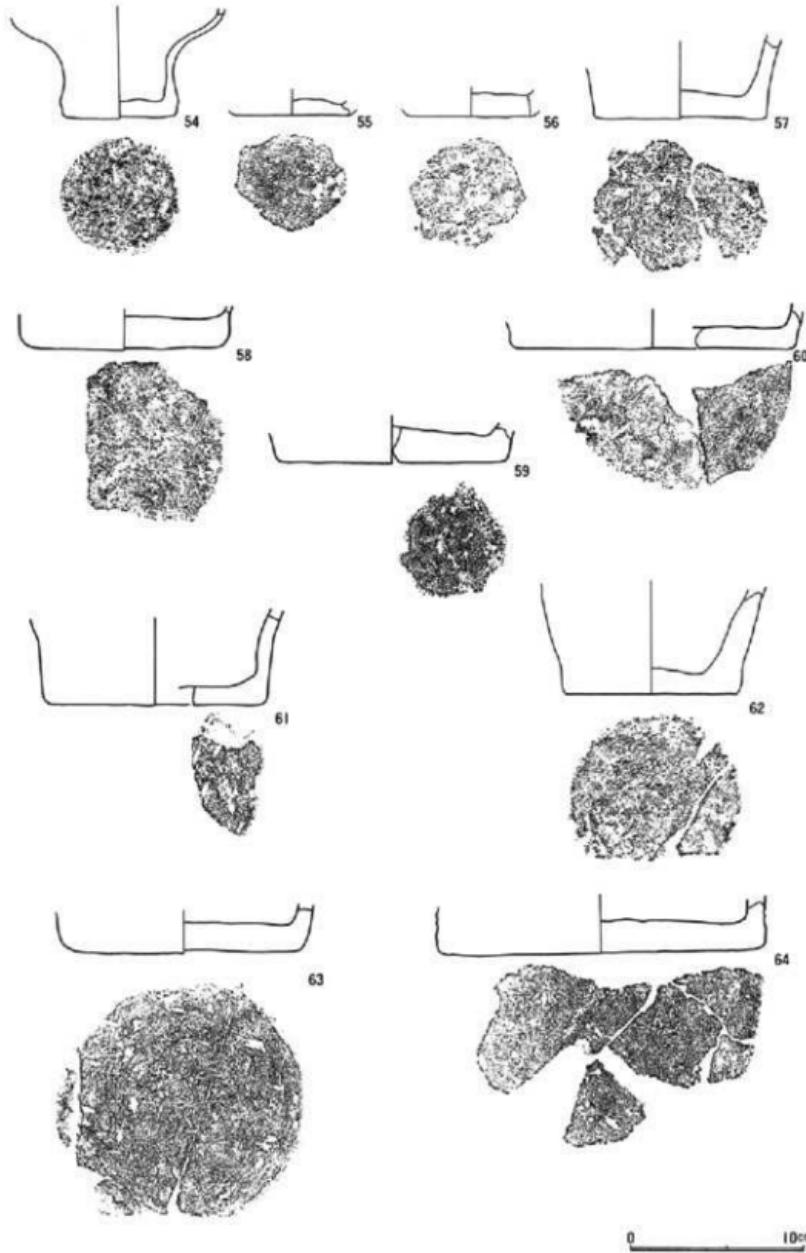


図30 土器拓影実測図（9）

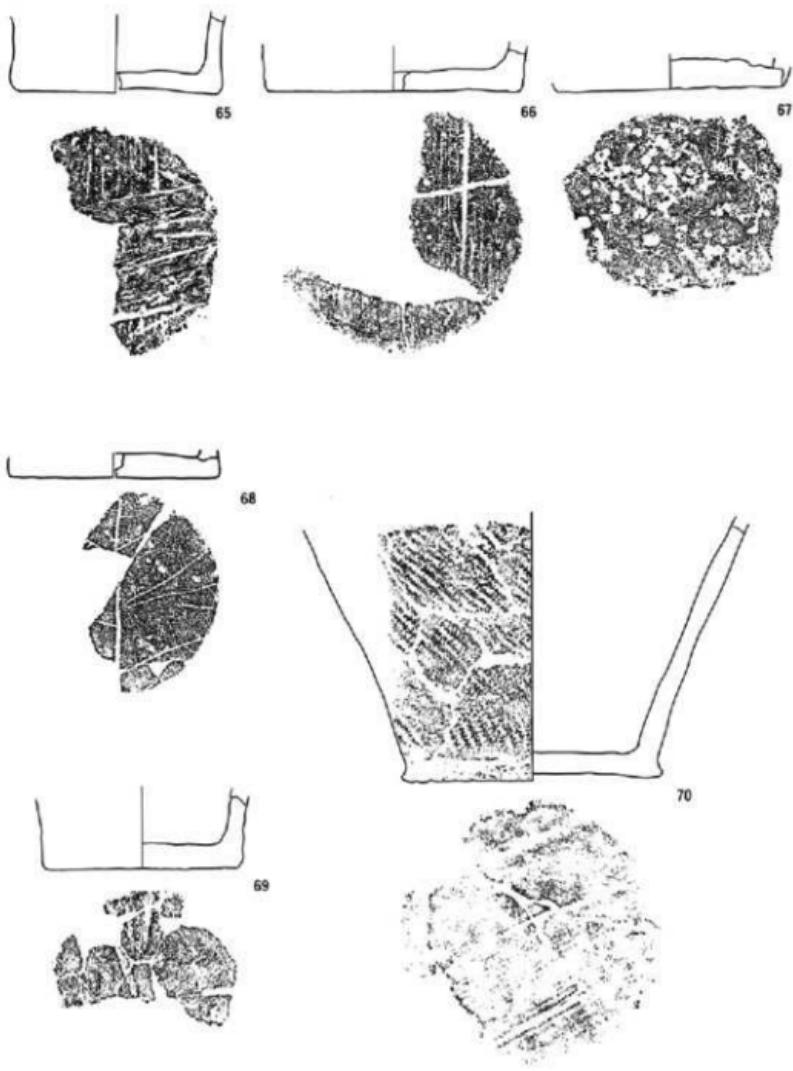


図31 土器拓影実測図 (10)

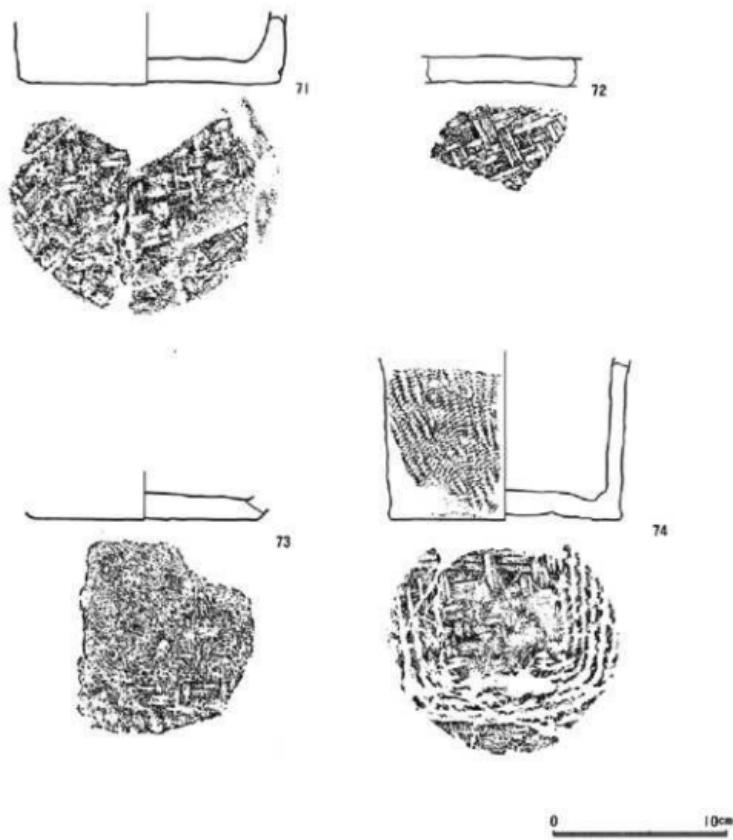


図32 土器拓影実測図 (II)

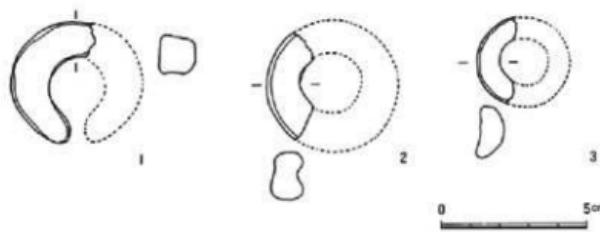


図33 土製品（耳飾）

表4 土器観察表(1)

| 番号 | 文<br>様   | 内面          | 計測値 (mm) |        |                              |    | 粘土                   | 色調                   | 出土・層<br>地点 |
|----|--|-------------|----------|--------|------------------------------|----|----------------------|----------------------|------------|
|    |  |             | 口径       | 底径     | 器高                           | 器厚 |                      |                      |            |
| 1  | 複合口縁、中歯竹管縦位刺突(2条)<br>胴部 単節 L.R.(横位) 2次焼成   | 微粒みがき       | (270)    |        | 9<br>細砂<br>45度               |    | 10 YR 4/3<br>に高い黄褐色  | 91-83・III<br>R 109   |            |
| 2  | 口唇平縁、精土帯はりつけ+半歯竹管縦位刺突(1条)<br>口唇頂部二次焼成及び灰化物   | 微粒みがき       | (198)    |        | 10<br>粗砂<br>45度              |    | 10 YR 4/2<br>に高い黄褐色  | 95-96・I<br>R 98      |            |
| 3  | 口唇部及び頸部半歯竹管縦位刺突(各1条)   | 微粒みがき       |          |        | 8<br>細砂<br>45度               |    | 10 YR 4/2<br>に高い黄褐色  | 91-75・III            |            |
| 4  | 口唇 平縁 頸部半歯竹管による刺突  | みがき         |          |        | 12.5<br>小粒                   |    | 10 YR 4/2<br>に高い黄褐色  | 87-75・III<br>S 77 上面 |            |
| 5  | 口唇 小波状 脊部半歯竹管による刺突(2条)<br>胴部 单節 L.R.(横位)   | 粗           |          |        | 13<br>粗砂<br>45度              |    | 10 YR 4/2<br>に高い黄褐色  | 85-78・III            |            |
| 6  | 口唇 斜縁 厚壁、半歯竹管による刺突   | みがき<br>角質   |          |        | 10<br>細砂<br>45度              |    | 10 YR 4/2<br>に高い黄褐色  | 85-92・III<br>R 97    |            |
| 7  | 頸部 半歯竹管による刺突(1条)<br>胴部 单節 L.R.(横位)   | みがき<br>灰化物  | (142)    |        | 7<br>粗砂、石英<br>45度            |    | 7.5 YR 4/2<br>に高い黄褐色 | 87-75・III            |            |
| 8  | 口唇 頸部による斜面小波状、腰部 半歯竹管による押引文<br>アーチクリーをもつ平行底大口只(横位・焼成)  | 微粒みがき       | 190      |        | 8<br>細砂                      |    | 7.5 YR 4/2<br>に高い黄褐色 | 89-77・III            |            |
| 9  | 口唇 頸部 半歯竹管による押文(2条)<br>胴部 半歯竹管による押文(2条) 単節 L.R.(横位)  | 微粒みがき       | 220      |        | 6<br>細砂、石英、小粒                |    | 10 YR 4/2<br>に高い黄褐色  | 5 T 6 F 1            |            |
| 10 | 半歯竹管刺突・单節 L.R.(横位)   | なで          |          |        | 10<br>細砂、石英<br>45度           |    | 10 YR 4/2<br>に高い黄褐色  | 87-75・III            |            |
| 11 | 半歯竹管刺突・单節 L.R.(横位)   | なで          |          |        | 9<br>細砂、粗砂<br>45度            |    | 10 YR 4/2<br>に高い黄褐色  | 87-75・III            |            |
| 12 | 複合口縁 口唇及び南斜手縫合による刺突(各1条)<br>胴部 半歯竹管刺突(横位)  | みがき<br>角質   | (285)    |        | 8<br>細砂、石英<br>45度            |    | 10 YR 4/2<br>に高い黄褐色  | 95-92・III<br>R 97    |            |
| 13 | 口唇 平縁(陶範あり)<br>胴部 粘土ひも+半歯竹管による刺突(3条)   | みがき         | 281      |        | 11<br>細砂<br>有質               |    | 7.5 YR 4/2<br>に高い黄褐色 | 86-87・III            |            |
| 14 | 複合口縁 粘土ひも+半歯竹管による刺突<br>胴部 粘土ひも+半歯竹管による刺突 単節 L.R.(横位)   | みがき         | (178)    |        | 7<br>粗砂                      |    | 7.5 YR 4/2<br>に高い黄褐色 | 85-75・III            |            |
| 15 | 頭部 粘土ひも+半歯竹管による刺突<br>胴部 粘土ひも+半歯竹管による刺突   | みがき         | (184)    |        | 9<br>粗砂                      |    | 7.5 YR 4/2<br>灰      | 88-86・III            |            |
| 16 | 頭部(平縁) 粘土ひも+半歯竹管による刺突(2条)<br>胴部 粘土ひも+半歯竹管による刺突(2条)<br>頭部 粘土ひも+半歯竹管による刺突(2条)<br>胴部 粘土ひも+半歯竹管による刺突(2条) | みがき<br>灰化物  | 197      | 8~11   | 石英<br>45度                    |    | 7.5 YR 4/2<br>に高い黄褐色 | 95-93・III<br>R 98    |            |
| 17 | 口唇 粘土ひも+半歯竹管による焼成口縫<br>胴部 粘土ひも+半歯竹管による焼成口縫   | みがき         |          |        | 11<br>粗砂                     |    | 10 YR 4/2<br>に高い黄褐色  | R P 46               |            |
| 18 | 口唇 平縁 口唇による平行凹溝、胴部 粘土ひも+方管部位押圧<br>單節 L.R.(横位・焼成)   | みがき         | 245      | 127    | 337<br>12.5<br>石英            |    | 10 YR 4/2<br>に高い黄褐色  | R P 165              |            |
| 19 | 頭部 複合口縁、山形状突起 粘土ひも+半歯竹管底押圧<br>胴部 粘土ひも+半歯竹管底押圧  | なで          |          |        | 8<br>細砂<br>石英                |    | 7.5 YR 4/2<br>石英     | 85-87・III            |            |
| 20 | 波状口縁 竹管突出 頭部はりこぼ 粘土ひも+竹管押圧<br>單節 L.R.(横位)  | みがき         |          |        | 10<br>細砂、石英<br>45度           |    | 10 YR 4/2<br>に高い黄褐色  | 88-78・III            |            |
| 21 | 頸部 粘土ひも+半竹管斜位押圧  | みがき<br>(重複) |          |        | 10<br>細砂、石英<br>45度           |    | 7.5 YR 4/2<br>に高い黄褐色 | S T 6<br>88-76・III   |            |
| 22 | 單節 L.R.(横位)  | みがき<br>角質   | (339)    |        | 12<br>粗砂                     |    | 10 YR 4/2<br>に高い黄褐色  | R P 95               |            |
| 23 | 口唇底部(頭部に起立) 頭部 粘土ひも+礎底による斜位押圧<br>胴部 单節 L.R.(横位)  | なで          | (371)    |        | 12<br>粗砂<br>45度              |    | 7.5 YR 4/2<br>に高い黄褐色 | 90-78・III            |            |
| 24 | 口唇 竹管押圧による斜位押圧、頭部 粘土ひも+竹管斜位押圧<br>胴部 单節 L.R.(横位・焼成)   | みがき         | 283      |        | 13<br>粗砂、小粒、<br>石英、粘土<br>45度 |    | 10 YR 4/2<br>に高い黄褐色  | R P 85               |            |
| 25 | 複合口縁、けいさく頭部、側面による圓錐状突起<br>胴部 单節 L.R.(横位・焼成)  | みがき<br>灰化物  | 306      | 9.5~16 | 8<br>細砂、石英<br>45度            |    | 7.5 YR 4/2<br>に高い黄褐色 | R P 84               |            |
| 26 | 頭部 粘土帶付土+頭部(单節L.R.焼成底なし)<br>頭部 粘土ひも+あやべり(横位)   | なで          | (212)    | 610    | 8~9<br>石英、粘土<br>45度          |    | 7.5 YR 4/2<br>に高い黄褐色 | 87-88・III<br>R 81    |            |
| 27 | 口唇平縁 粘土ひも+つけた縫合文、頭部 粘土ひも+竹管斜位押圧(单節L.R.焼成底なし)<br>頭部 半歯竹管による平行凹溝、胴部 单節 L.R.(横位)                        | みがき<br>角質   | (266)    |        | 9<br>細砂<br>石英                |    | 10 YR 4/2<br>に高い黄褐色  | R P 93               |            |
| 28 | 口唇 深窓、頭部 粘土ひも貼付+竹管による平行凹<br>溝 単節 L.R.(横位)  | みがき         | (184)    |        | 8<br>細砂<br>45度               |    | 7.5 YR 4/2<br>に高い黄褐色 | 84-76                |            |
| 29 | 頭部 粘土ひも貼付 胴部 单節 L.R.(横位)   | みがき         | (197)    |        | 8<br>粗砂                      |    | 7.5 YR 4/2<br>に高い黄褐色 | R P 81               |            |
| 30 | 口唇平縁 頭部 粘土状体压痕 胴部 单節 L.R.  | なで          | (150)    |        | 11<br>粗砂                     |    | 7.5 YR 4/2<br>に高い黄褐色 | R P 94               |            |
| 31 | 流状口縁 はりこぶ  | みがき         |          |        | 10<br>細砂、石英<br>45度           |    | 10 YR 4/2<br>に高い黄褐色  | 89-74・III            |            |
| 32 | 複合口縁 はりこぶ  | みがき         |          |        | 13<br>細砂<br>石英               |    | 7.5 YR 4/2<br>に高い黄褐色 | 91-76                |            |
| 33 | 複合口縁 L.R.(横位)  | 粗           |          |        | 6<br>微砂                      |    | 7.5 YR 4/2<br>に高い黄褐色 | 85-81・III            |            |
| 34 | 複合口縁 頭部0段多条 L.R.(横位)   | なで          |          |        | 8<br>粗砂                      |    | 10 YR 4/2<br>に高い黄褐色  | 88-77・III            |            |
| 35 | 小波状口縁  | なで          |          |        | 13<br>粗砂                     |    | 7.5 YR 4/2<br>に高い黄褐色 | R P 97               |            |
| 36 | 流状口縁 粘土帶貼付   | みがき         |          |        | 12<br>小粒                     |    | 7.5 YR 4/2<br>に高い黄褐色 | 89-79・III            |            |
| 37 | 流状口縁 胴部 单節 L.R.(横位)  | なで          |          |        | 12<br>細砂<br>石英               |    | 7.5 YR 4/2<br>に高い黄褐色 | 90-83・III            |            |
| 38 | 流状口縁 胴部 单節 L.R.(横位)  | みがき         |          |        | 8<br>細砂                      |    | 10 YR 4/2<br>に高い黄褐色  | 100-96・II            |            |
| 39 | 口唇部複合・波状 刻目  | なで          |          |        | 13<br>粗砂                     |    | 7.5 YR 4/2<br>に高い黄褐色 | 89-78・III            |            |
| 40 | 口唇部刻目 つめ状工具による刺突   | なで          |          |        | 16<br>粗砂<br>小粒               |    | 7.5 YR 4/2<br>に高い黄褐色 | 91-82・III            |            |
| 41 | 口唇部小波状・刻目  |             |          |        | 9<br>粗砂                      |    | 10 YR 4/2<br>に高い黄褐色  | 89-79・III            |            |
| 42 | 口唇部 刻目文 胴部 L.R.斜位・横位   | みがき         |          |        | 8<br>細砂、石英<br>45度            |    | 10 YR 4/2<br>に高い黄褐色  | 88-78・III            |            |

表5 土器観察表(2)

| 番号 | 文様                                     | 内面       | 計測値(mm) |       |    |                 | 黏土                 | 色調                           | 出土地点・層                                       |
|----|--|----------|---------|-------|----|-----------------|--------------------|------------------------------|--|
|    |  |          | 口径      | 底径    | 器高 | 器厚              |                    |                              |  |
| 43 | 複合口縁<br>網部 単脚 R L(横位)                  | みがき      | (267)   |       |    | 9               | 細砂・<br>雲母          | 10YR 5%<br>に近い黄褐色            | 97-89・III                                    |
| 44 | 複合・小頭状口縁(御頭押延)                         |          | 277     |       |    | 10              | 細砂・石英・<br>雲母       | 10YR 5%<br>に近い黄褐色            | 91-83・III                                    |
| 45 | 波状口縁<br>網部 単脚 R L(横位)                  | みがき      | (134)   | (135) |    |                 | 黑雲母・<br>石英         | 10YR 5%<br>に近い黄褐色            | (90-79-90-77-89-81)<br>III (88-76-87-77) III |
| 46 | 単脚 R L(横位) あやくり                        | なで       |         |       |    | 11              | 小曜                 | 10YR 5%<br>に近い黄褐色            | 88-77・III                                    |
| 47 | 単脚 R L(縦位) あやくり                        | 粗        |         |       |    | 10              | 粗砂                 | 10YR 5%<br>に近い黄褐色            | 100-90・III                                   |
| 48 | 沈線・平節直前段3本多条 R L(横位)                   | みがき      |         |       |    | 10              | 小曜・粗<br>砂・石英       | 10YR 5%<br>に近い黄褐色            | 90-80・III                                    |
| 49 | 単脚 R L(横位)                             | なで       |         |       |    | 9               | 細砂・雲<br>母・石英       | 10YR 5%<br>に近い黄褐色            | 92-82・III                                    |
| 50 | 単脚羽状龍文(縦位)                             | みがき      | (155)   |       |    | 8               |                    | 10YR 5%<br>に近い黄褐色            | 85-74・II                                     |
| 51 | 口唇部平縁・粘土帶貼付<br>網部 単脚 R L(横位)・竹管による平行沈線 | みがき      | (253)   |       |    | 9               | 細砂・<br>粗砂          | 7.5YR 5%<br>に近い黄褐色           | 100-86・II<br>R P 05・07                       |
| 52 | 単脚 R L(横位)・竹管による平行沈線                   | みがき      | (61)    |       |    | 6               | 粗砂                 | 2.5YR 5%<br>に近い黄褐色           | X-0  |
| 53 | 墻壁によるうず巻文                              | みがき      |         |       |    | 8               | 粗砂                 | 7.5YR 5%<br>に近い黄褐色           | 100-86・II                                    |
| 54 | 単脚 R L(横位) 底部無文                        | 粗        | 58      | (54)  | 5  | 細砂・<br>石英       | 10YR 5%<br>に近い黄褐色  | 85-83・III<br>R P 86          |  |
| 55 | 底部無文                                   | なで       | (60)    |       |    | 細砂              | 10YR 5%<br>に近い黄褐色  | 87-76・III                    |  |
| 56 | 底部無文                                   | なで       | (60)    |       |    | 石英              | 2.5YR 15%<br>赤褐色   | 88-85・III                    |  |
| 57 | 単脚 0段 多条 L R(横位) 底部無文                  | なで       | 91      | (48)  | 9  | 細砂              | 7.5YR 5%<br>に近い黄褐色 | S T<br>R P 163               |  |
| 58 | 底部無文                                   | なで       | (101)   |       |    | 細砂・石英           | 10YR 5%<br>に近い黄褐色  | 88-77・III                    |  |
| 59 | 底部無文                                   | なで       | (116)   |       |    | 細砂              | 10YR 5%<br>に近い黄褐色  | S T 6<br>R P 20              |  |
| 60 | 複脚 R L(横位) 底部無文・みがき                    | なで       | (142)   |       |    | 細砂<br>4mm       | 10YR 5%<br>に近い黄褐色  | 87-76・III                    |  |
| 61 | 単脚 R L(横位) 底部無文                        | なで       | (113)   | (45)  | 11 | 粗砂              | 10YR 5%<br>に近い黄褐色  | 85-87・III                    |  |
| 62 | 単脚 R L(横位)? 底部無文                       | 粗        | (90)    | (53)  | 13 | 小曜              | 10YR 5%<br>に近い黄褐色  | 90-80・III                    |  |
| 63 | 底部無文・みがき                               | なで       | 119     | (22)  | 8  | 粗砂              | 10YR 5%<br>に近い黄褐色  | 88-78・III                    |  |
| 64 | 単脚 R L(横位) 底部無文・みがき                    | みがき      | (165)   | (25)  | 9  | 粗砂              | 10YR 5%<br>に近い黄褐色  | 88-86・III                    |  |
| 65 | 複脚 R L R(横位・斜位) 底部 條狀状压痕               | なで       | (104)   | (41)  | 7  | 細砂・石英・<br>雲母・小曜 | 10YR 5%<br>に近い黄褐色  | S T 6・F 1                    |  |
| 66 | 底部 筒状状压痕                               | なで       | (135)   | (22)  | 10 | 小曜              | 5YR 5%<br>赤褐色      | 85-83・III<br>R P 86          |  |
| 67 | 底部 瘤状状压痕(小石が抜けたあと?)                    | なで       | (116)   |       |    | 小曜              | 5YR 5%<br>赤褐色      | 85-82・III                    |  |
| 68 | 底部 瘤状状压痕                               | なで       | (110)   |       |    | 細砂<br>小曜        | 7.5YR 5%<br>に近い黄褐色 | 88-78・III                    |  |
| 69 | 単脚 R L(横位) 底部 條狀状压痕                    | みがき      | (100)   | (38)  | 10 | 小曜<br>粗砂        | 2.5YR 5%<br>黒      | 97-86・III<br>R P 125         |  |
| 70 | 単脚 R L(横位) 底部 筒状状压痕                    | なで(粗)    | 135     | (126) | 10 | 粗砂<br>小曜        | 2.5YR 5%<br>赤褐色    | R P 101                      |  |
| 71 | 単脚 R L(横位) 底部 細代状压痕                    | なで       | 139     | (25)  | 13 | 細砂<br>石英        | 5YR 5%<br>明赤褐色     | (91-84-89-85)・III<br>R P 141 |  |
| 72 | 底部 細代状压痕                               | なで       |         |       |    | 小曜              | 10YR 5%<br>に近い黄褐色  | 89-89・III                    |  |
| 73 | 底部 細代状压痕                               | なで       |         | 120   |    | 細砂<br>石英        | 10YR 5%<br>黄褐色     | 91-84・III                    |  |
| 74 | 斜行縫合 R L(横位・斜位)                        | 細砂<br>石英 |         | (26)  | 8  | 細砂<br>雲母        | 10YR 5%<br>に近い黄褐色  | (88-27-89-77-89-78-79) III   |  |

表6 土製品観察表(耳かざり)

| 番号 | 形<br>状<br>・<br>調<br>整 | 外径   | 内径   | 厚  | 幅a | 幅b | 残重量  | 黏土       | 色<br>調            | 出土地点・層               |
|----|-----------------------|------|------|----|----|----|------|----------|-------------------|----------------------|
| 1  | 丹施・けつ入・なで             | (45) | (20) | 13 | 12 | 7  | 11.5 | 細砂<br>雲母 | 10YR 5%<br>に近い黄褐色 | 87-77・III<br>R P 14  |
| 2  | 環状(?)・なで              | (45) | (21) | 15 | 11 | 10 | 7.5  | 細砂・石英    | 7.5YR 5%<br>赤褐色   | 85-82・III<br>R P 106 |
| 3  | 環状・なで・内側へら状工具による調整    | (32) | (17) | 17 | 7  | 8  | 5.4  | 細砂       | 5YR 5%<br>赤褐色     | 98-82T・III<br>R P 91 |

## V ま と め

大槻B・C遺跡は米沢盆地の南端、松川扇状地扇央部(標高270m)に位置する。発掘調査は昭和59・60年度の2箇年にわたって行った。I区～IV区の精査区を設け、III・IV区で遺構・遺物が検出された。

### 1 遺 構

III区ではピット、落ち込み状遺構が検出され、遺物の出土は無かった。

IV区では竪穴式住居跡5棟、焼土7基、土坑、ピット、礫集中域等の遺構を検出した。竪穴住居跡は検出面からの堀込みが浅く、柱穴の遺存状況も不確かなものが殆どである。

焼土は、中心から半径約1～3m程の範囲に遺物が集中して出土しているものがある。焼土を中心には遺物が分布することや、遺物検出面と焼土検出面との高低差が微少であることなどから、これら焼土は暫定的な住居跡等の可能性が考えられる。

礫集中域は3～10cm大の川原石が密集しており、土器片、凹石、磨石が出土している。礫は配置されたような状態では無く、性格は不明である。

### 2 遺 物

遺物はIII区では摩耗烈しい土器破片が少量出土した。IV区では石器(打製石器16点、磨製石器62点、礫580点、剥片470点)・土器(1,117点)・土製品(耳飾り)が出土している。

打製石器は数量・器種共に少なく、礫石器・礫の出土量が多い。生活面付近の土層は礫を殆ど含まないことから、遺跡内へ礫の搬入が頻繁に行われたことが考えられる。

土器も、遺構と絡んでいる地点で集中して出土しており、この他では極少量の出土又は無出土である。

土器は、縄文時代前期大木6式期に比定されるものが殆どで、これに大木8b式期のものが若干出土している。

第1群土器の文様帶は、口縁部～頸部に集中しており、半截竹管文、粘土紐貼付+半截竹管文、粘土紐貼付+押圧痕、鋸齒状文などが見られる。

このうち、2類bの口縁部～頸部文様帶に細隆粘土紐を貼付し、結節状浮文が施されるもの(14～16)は、関東地方の十三菩提式に近似するものである。

器形は、深鉢形土器・台付き様鉢形土器が大部分である。

# 図 版



調査区域近景（西から）



試掘状況



I区 東西トレンチ北壁土層（東から）



17-20 グリッド土層（南から）



II区 精査状況（北から）



III区 完掘状況（北から）



IV区 トレンチ精査状況（南西から）



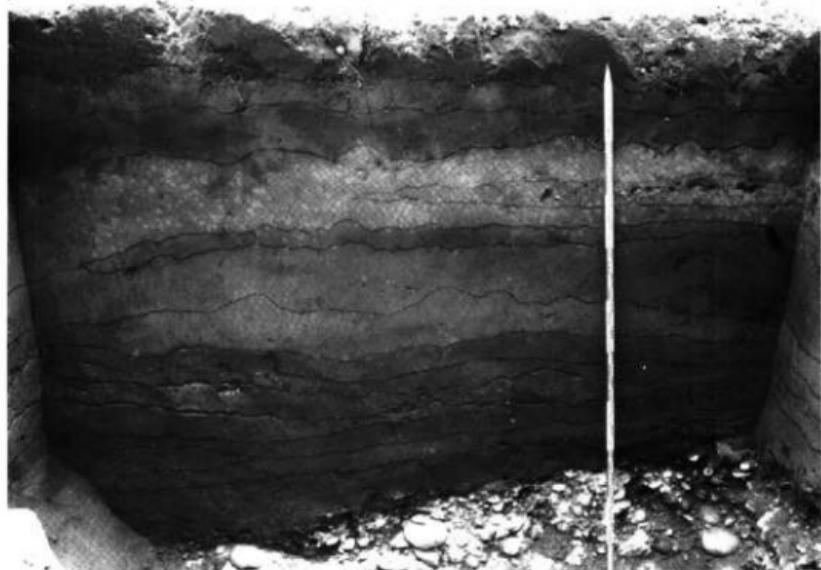
IV区 遺構検出状況（北から）



VI区 東壁土層南側（北西から）



IV区 東壁土層北側（南西から）



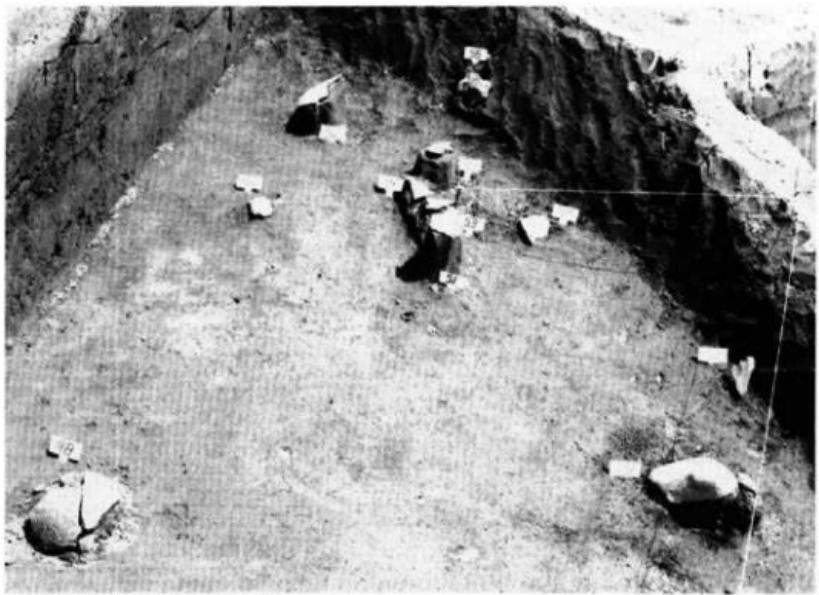
120-90グリッド土層（西から）



IV区93-74グリッド東壁土層（西から）



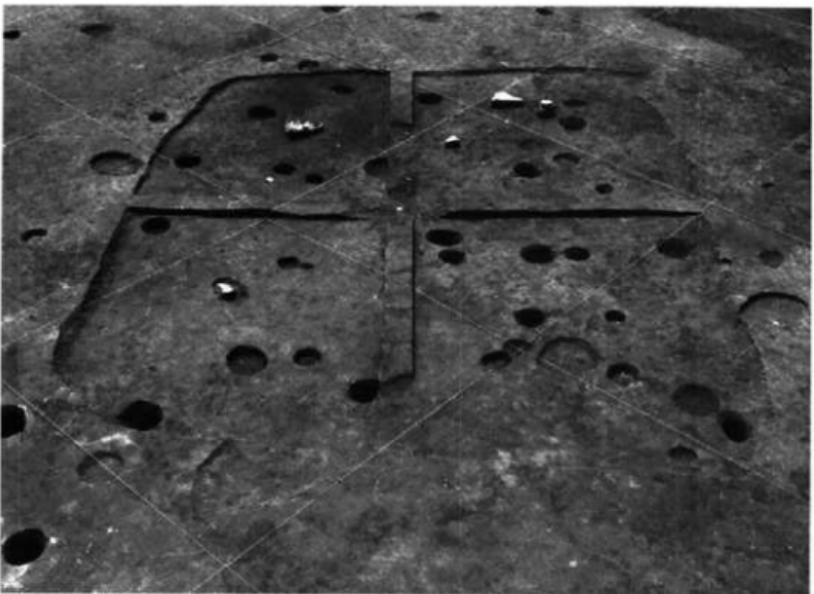
ST6・7住居跡（北から）



ST7遺物出土状況（西から）



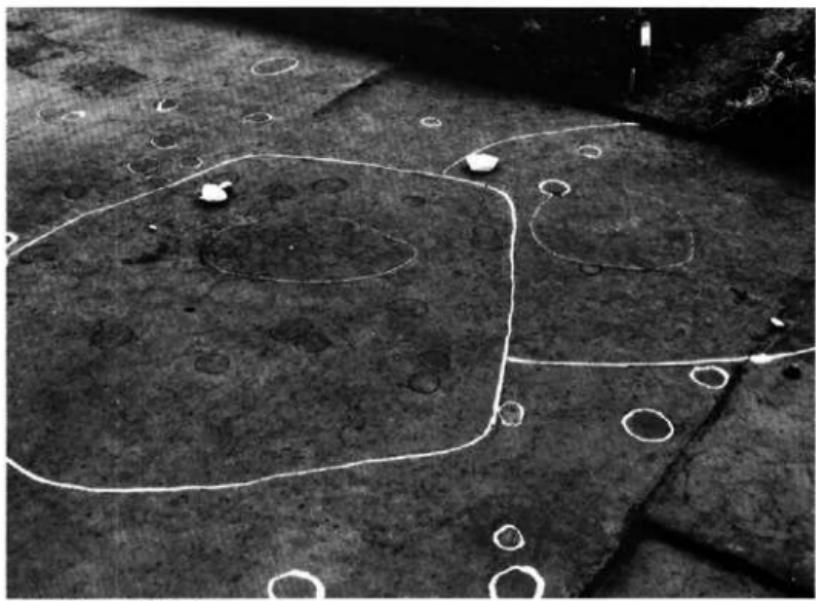
ST10 - 11 住居跡（南から）



ST32 住居跡（南西から）



EL809近景（西から）



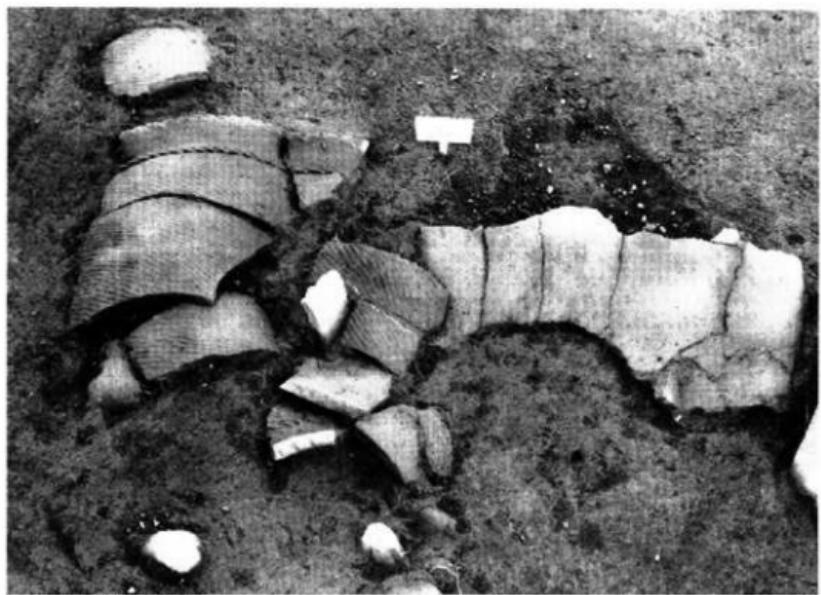
EL809近景（東から）



SK2土坑（南東から）



SK2土坑土層（北から）



土器出土状况 (No.24)



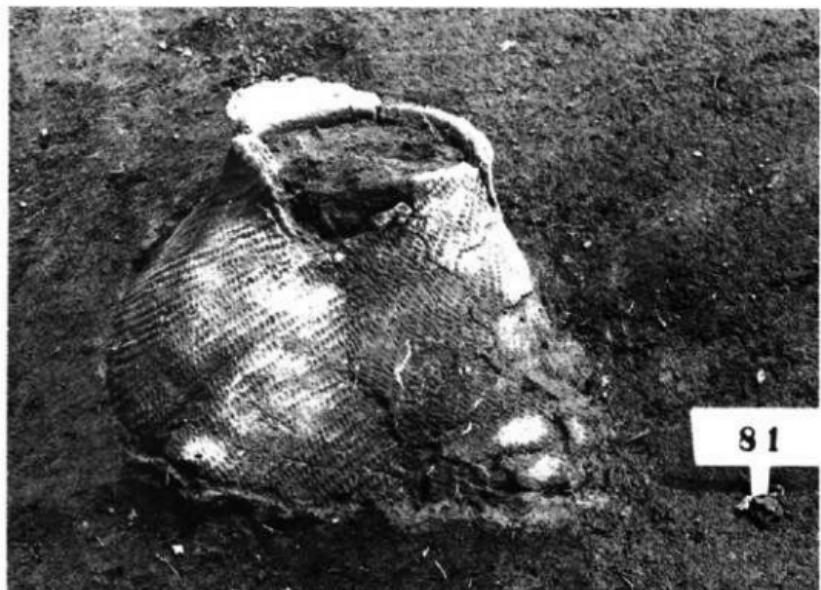
土器出土状况 (No.16)



土器出土状况 (No.25)



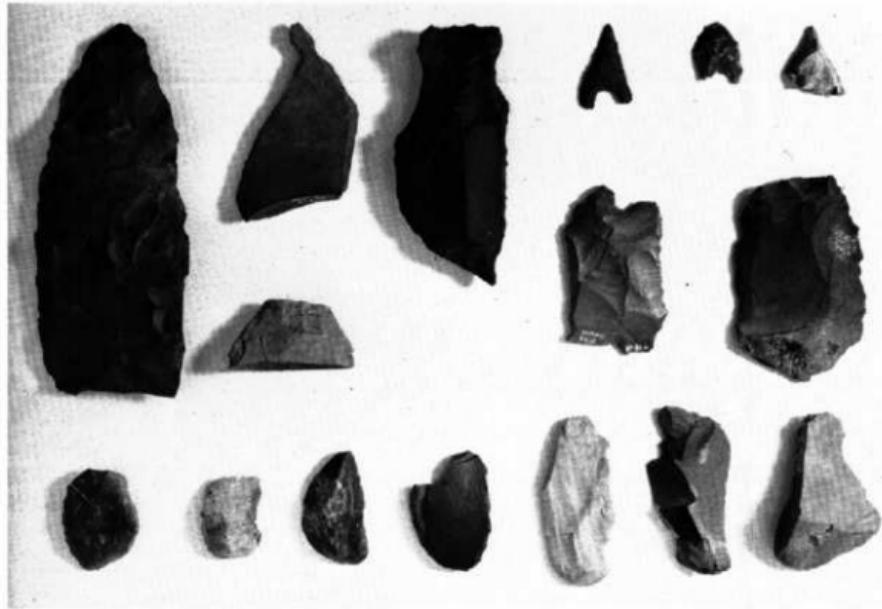
土器出土状况 (No.18)



土器出土状況 (No.27)



礫検出状況91・92-79~83グリッド(西から)

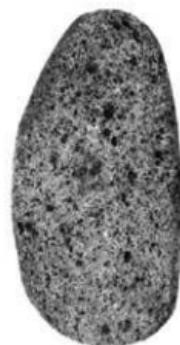


(表)



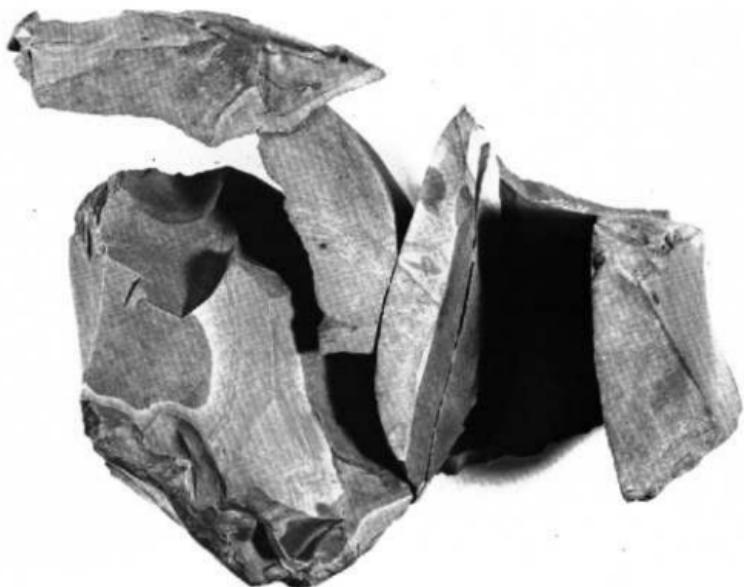
(裏)

石器(I) S = ½





石器(3) S =  $\frac{1}{3}$



接合剥片



1



2



5



3



4



6



7



8



9



10



11



12



13



14



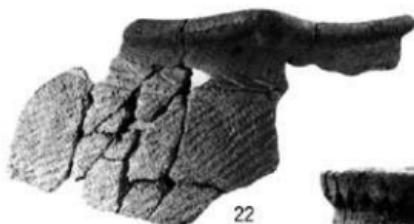
15



16



19



22



17



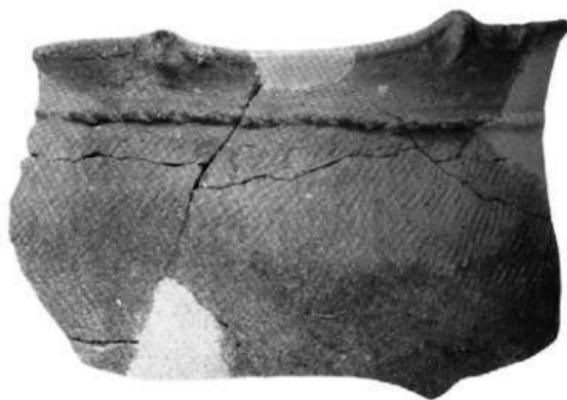
18



20



21



23

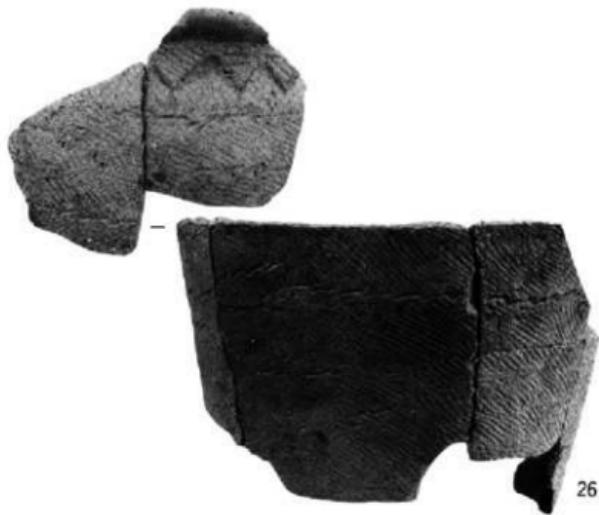


24

土器(3) S =  $\frac{1}{3}$

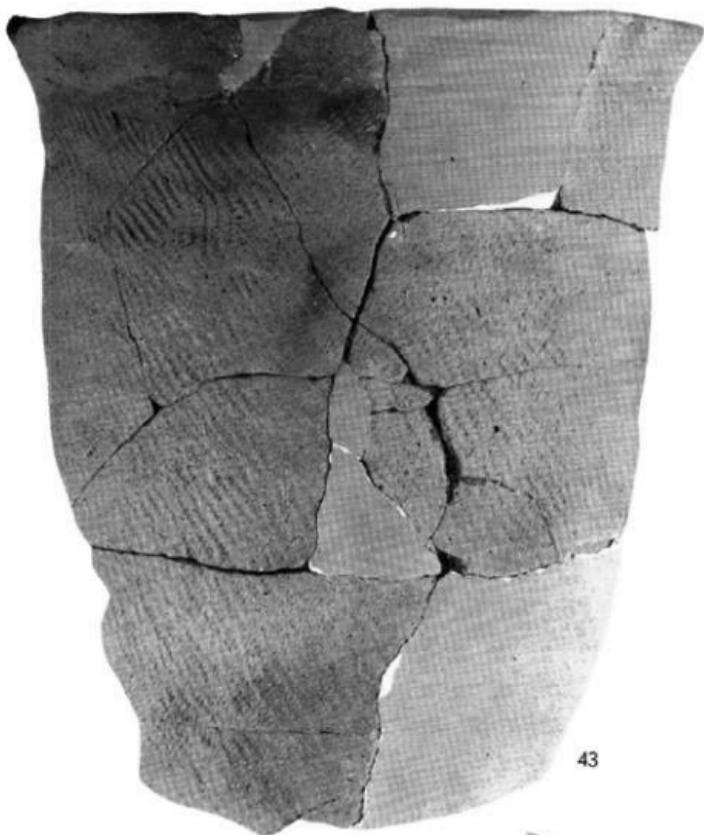


25

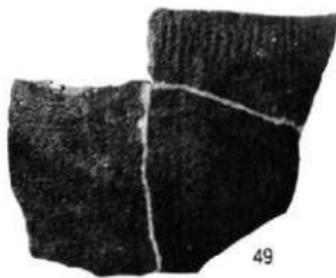


26





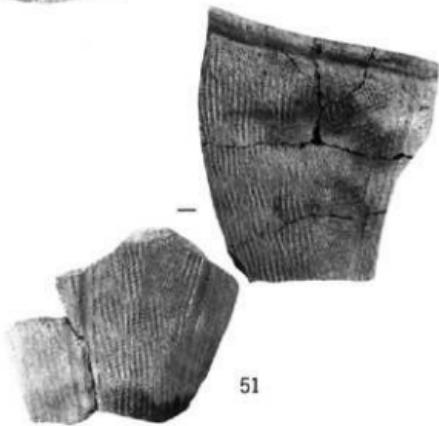
43



49



52



51



53



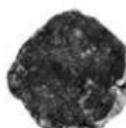
54



50



55



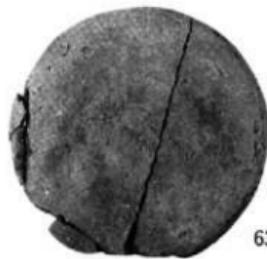
56



57



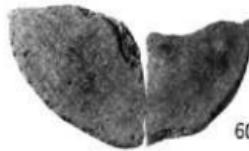
58



63



59



60



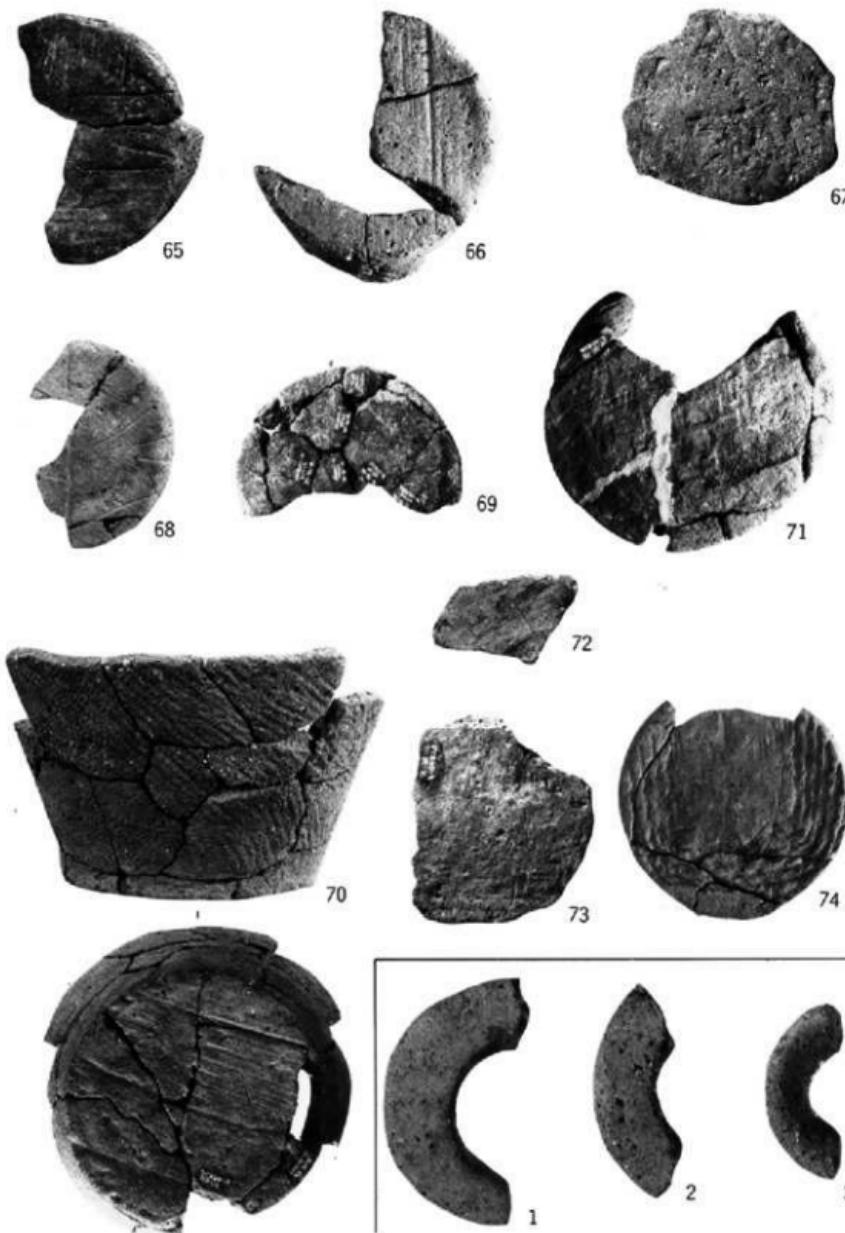
61



62



64



土器(8) S =  $\frac{1}{3}$

土製品 S =  $\frac{1}{3}$

---

山形県埋蔵文化財調査報告書第103集

おお だん  
**大 檀 B・C 遺 跡**

発 挖 調 査 報 告 書

昭和61年3月20日 印刷  
昭和61年3月25日 発行

発行 山形県教育委員会  
印刷 山形印刷株式会社

---